(明治四十一年八月十日第三種郵便物認可)

京城日報

三十日夕刊

發行所　京城太平通一丁目　合資會社　京城日報社

◎南方へ具體的妥協案

總統府側の消息に據れば北京政府は二三日前南方に對し具體的妥協案を致せり回答は雲貴廣西打合を要すれば回答電報は尚は多少の時日を要す可く此れに依つて略ぼ決す可しと(北京電報)

◎段將軍辭職を乞ふ

奉天上將軍段芝貴は二十八日袁總統に對し辭職を請へりと(北京電報)

◎袁總統退職歸臥說

廣東省汕頭の獨立宣布

北京來電に曰く帝政取消不可を唱へ快々樂まざりし奉天將軍段芝貴は遂に辭職を申出で袁總統亦時局紛糾と內外の形勢とに鑑み到底永く現位置を支持し難きを覺り斷然挂冠河南の草廬に退隱の決意をなせりとの說あり又南支方面は北京政府の形勢變化と共に一層獨立軍の氣勢を煽り時局益々紛亂し來り從て人心恂々不穩の裡に經過しつゝありし廣東省汕頭も遂に獨立の宣布をなしたり情勢斯の如くなるを以て袁總統退職後の支那政局が我邦に利益ある結果を齎らすや否や猶疑問なりと一般に觀測せらる(東京電報)

◎米國對獨質問を發す

回答如何に依り形勢重大

二時間に亙る內閣會議の後米國は駐獨米國大使を通じて英船サセックス號擊沈に關し獨逸政府に對し質問を發したり其回答如何に依りては形勢重大となる可し米政府も多少の覺悟を爲したるものゝ如し(紐育電報)

◎獨軍陣地包圍さる

作戰上の價値を失へるもの數個

軍事批評家の思惟する所に據れば露軍がアウガスチンホウ南方に進出せる爲めヤコブスタートに面ずる數個の獨軍陣地は作戰上の價値を失ひ其左翼は全く包圍し了れり斯くてミタトクレウズブルグ鐵道に依る後方との連絡は遮斷されたりと(露都電報)

◎松井大使も參列

英佛露伊聯合經濟同盟會議に松井大使も參列する事に決定せり(東京電報)

◎支那外交官增派

帝國政府は戰亂の爲め獨墺兩國に於ける大使館を閉鎖せるを以て豫算剩餘金にて支那へ外交官を增派す可し(東京電報)

◎支那警備艦の異動

支那政局の變化と共に政府は支那沿岸警備艦の異動を行ひたり(東京電報)

◎駐支英公使留任

歸國の筈なりし北京駐在英國公使ジヨルダン氏は留任に決し歸國を見合せたりと(東京電報)

◎英貨と公債買入

英國に於ける我公債第五回買入金五百萬圓交附せらる是れにて殘高二千五百萬圓となり目下猶五百萬圓の買入手續中なり(東京電報)

◎鐵道と銀行家

銀行業者は政府の交涉に應じ鐵道資金內債四千萬圓丈けを應募する事を承諾せり(東京電報)

◎資金需要活潑

各種事業資金の需要活潑にしてコール昂騰せり(東京電報)

◎海軍大更迭期

海軍定期大更迭は來る四月一日を以て行ふ可く官制改正に依る外將官に異動なしと(東京電報)

◎吉野博士

法學博士吉野作造氏は卅日午前釜山入港の連絡船高麗丸にて渡鮮同十時卅分發汽車にて北行同夜京城に入る可し(釜山特電)

◎長春信託創立總會

長春取引所信託株式會社日支合辦創立總會は豫定の通り二十六日午後三時より頭道溝商務會取引所に於て開催されたるが出席株主八十五名にして日本人側五十一名支那人側三十四名所有株九千七百六十八に達したる經過報告あり次いで重役の選擧を行ひたるが其結果左の如し而して十名の重役中より社長の互選を行ひ滿鐵の李子澂氏に當選したり專務取締役田村辭三氏は特に滿鐵より派出を乞ひたるものにして條件附の專務なるが故に選擧の限りに非ずとせりと尙ほ重役の報酬額附議の結果專務三百圓社長五十圓取締十五圓監査役十圓に決したり次に創立費九百九十八圓六十九錢也新重役承認株式申込者中正誤追認中村滿鐵總裁千株中五十株宛村田田村兩氏に變更の件等無事承認を經たり終りに田村專務取締李社長の就任挨拶ありて午後九時四十分平穩無事の裡に散會したり

		投票株數
社長	李子澂	七、八三八株
專務取締役	田村辭三	九、九二五株
取締役	侯森新	九、三二〇同
同	多賀谷俊吉	七、七六八同
同	馬金堂	六、三三八同
同	梁景陽	九、〇八〇同
監査役	阿川甲一	七、二四二同
同	村田懋麿	六、八二八同
同	姚慶年	
同	熊步雲	四、七六八同

村田氏の監査役は之を辭したるも滿鐵本社に同合せの上諾否を決する筈なりと(長春)

◎本年の麥作

最近の麥作に就き足立東拓殖產課長の談を聞くに舊臘來一月に亙り例年の嚴寒に比し暖暖を逞え更に二月下旬より三月に入つては餘寒比較的嚴しき爲め世上朝鮮の麥作を悲觀するものあるに似たれど事實は然らず作柄良好なり乃ち輕暖なりし故葉は稍繁り過ぎたる嫌ひあるも莖の伸張は生育恰當加ふるに分蘗盛んにして餘寒の如きも目下の所殆んど支障となり居らず恐らく本年作以上の收穫を得べしと

◎東拓六回移民

昨年募集せし東拓第六回移民は總數千五百戶なりしも應募者に對し會社より承認を與へし數は八百戶(二百戶聞糖移民)に過ぎず之等は春來續々渡鮮しつゝあるも內地農村一般に不景氣にて地價低落せる際とて承認を受けし移民も移住準備費の金策に窮するもの少からざるに付結局本年の移住數は五百戶を超ゆる能はざるべしと

◎府及組合豫算

京畿道にては目下各府郡より認可を申請し來れる大正五年度歲入出豫算に對しては極力審議の步を進め出來得る限り年度內に認可を與ふる筈にて近く認可さる可きものは

▲仁川府　仁川府協議員會は二十三日開會し大正五年度豫算案に對し諮問する所あり其後同豫算は道廳に於て審議中なるが豫算額は歲入經常部五萬八千三百九十二圓、同臨時部一萬一千四百三十八圓計六萬九千八百三十圓にして歲出は經常部四萬七千七百十八圓、臨時部二萬二千十二圓計同上にして歲入の主なるものは戶別割の五萬五千三百一圓にて前年に比し二千九百七十八圓を增加したりと

▲仁川學校組合　十五日開會の仁川學校組合會に於て決議したる大正五年度豫算歲入經常部六萬一千二百六圓、同臨時部一萬二千八百八十二圓計七萬四千八十八圓、歲出經常部六萬四千七百二圓、同臨時部九千三百八十六圓計七萬四千八十八圓

◎交換所大會

朝鮮側參加決定

昨年十月十三日京城に於ける物產共進會開催を機として京城に開かれたる朝鮮金融業者大會に於て內地に於ける銀行業者との連絡を圖り共通利用よりの投資を議するの目的を以て提出せられ之が決定を見たる全國手形交換所大會開催の場合に朝鮮に於ける手形交換所をして之に參加し得る樣京城銀行集會所をして交涉せしむる件について聯合會との間に折衝中なりしが其交換所聯合會に於て愈々朝鮮に於ける交換所は全國大會に參加し得る事となれり、從て來る四月十日東京に開催せらるべき同聯合會には全鮮交換所組合銀行は何れも代表者を參加せしめ得べく朝鮮銀行よりは勝田總裁出席すべく尙ほ其他の組合銀行よりも代表者を參加せしむるに至るべしと

◎橋本師團長(動靜)

橋本第九師團長は三十日午前井口軍司令官を訪問し新任の挨拶を爲し相携へて昌德宮に李王殿下を訪問し敬意を表し更に總督府官邸に於ける寺內總督の午餐會に臨みたり井口軍司令官も午餐會に列れり午後橋本中將は龍山なる步騎砲各部隊の視察を爲し夜は軍司令官邸に於ける井口軍司令官の晚餐會に臨み午後九時五十分龍山發急行列車にて北行西鮮地方に於ける各部隊の視察を爲す筈

◎軍司令官歸任

海州に於ける守備隊檢閱中なりし井口軍司令官は豫定の檢閱を終り廿九日午後七時十九分龍山驛著歸任せり

◎伊集院大使(出發)

赴任の途入京、朝鮮ホテルに投宿中なりし伊集院大使は三十日午前七時十分南大門驛發鮮滿急行列車にて哈爾賓に向け出發せり、同驛には石塚長官、本田模範場長其他多數官民有志の見送りありたり

◎大屋長官發期

鐵道局長官大屋權平氏は第五回日露聯絡運輸會議に出席の爲め四月一日東上の途に就くこととなれり

◎新京畿道長官著任

新任松永京畿道長官は三十一日午前八時南大門著にて平壤より著任の筈にて右出迎のため時永事務官は平壤迄急行したり長官は南大門驛より直に道廳に至り新任の挨拶を爲し其より總督府を訪問する豫定なりと

◎會議列席者出發

四月六日より開會の三線連絡運賃遞減協議會並に同十日より開會の日露連絡運輸會議に列席の鐵道局代表員の一人として鐵道局參事和田駿氏は卅日夜龍山出發東上せり大屋長官三本課長も近々出發の筈なり

◎鐵習所卒業式

京城北部白駒所鐵道從業員養成所卒業式は三十日午前九時半より擧行せられたり今年卒業生は六十二名にして臨場者は立花局長代理として山形大佐及び總務部各課長京畿道よりは隈部警務部長、西脇國務課長其他にして山形大佐の訓示あり午前中に式を了せり

◎釜山草梁間鐵道時間改正

四月一日より各學校共始業時間改正せらるゝに付き釜山及び草梁に登校する生徒に對し便宜を與へん爲め左記の如く當分時間の改正ありたり

釜山鎭發	午前七時三十分
草梁着	同　七時卅六分
同發	同　七時卅八分
釜山着	同　七時四十三分

元山

▲築港工事近況　元山土木局出張所にて入札の上元山安宅商會に落札の築港防波堤基礎捨石は其後同商會に於て葛麻半島建東里採取場より石材の切出し中なりしが愈去る二十八日捨石工事に著手せり一方築港用砂利運搬の爲め現場赤田川間の連絡道路と平元道路に敷設すべき輕便軌條は既に釜山より到著し現今敷設進捗中なるが完成を俟ちて先づ連絡道路の砂利撒布に著手之が終了するは四月上旬なるべしと▲島津大尉と告別式　元山守備隊中隊長島津大尉は這回新設師團に編入を命ぜられ一旦咸興聯隊本部に到り中隊を編成の上平壤に赴任する事となり二十八日朝同編入の上等兵以下四名を伴ひ出發したるが元山守備隊にては同日午前八時營庭に於て告別式を行へり▲仁川測候所長歸任　去る二十六日元山測候所に來れる仁川測候所長平田德太郎氏は廿八日朝出發歸任す▲看護手要員選期　在鄕駐劄第九師團より看護手要員として內地に歸還すべき六十數名の兵士は來る四月六日元山に集合し翌七日內地に向け出發の筈

仁川

▲瓦斯發起人會　既報の通り仁川瓦斯株式會社發起人會は二十九日午後六時より仁川俱樂部樓上に於て開催し發起人十四名全部出席せるが協議事項の中創立事務所を當分仁川會議所內に置き發起人全部を創立委員とし其中奧田貞次郎村谷吉藏白神專一の三氏を常務委員とするの件を協定し創立費用は一時常務委員の手にて假拂すること〻せり尙發起人以外仁川市中の有力家數十名を贊成者とし同社の株式

木浦

▲棉花十年式　陸地棉栽培十周年記念式開催に付て種々協議中なりしが其後發起人は木浦商業會議所と決定し同所役員會に於てもこれを承認したるを以て木村會頭近く上光し道長官と打合す所あるべく其の結果各方面に委員を囑托し準備を進捗せしむる豫定にして期日は本年十月一日松島公園に記念碑を建設し記念式と共に盛大なる宴會を催し尙講演會を開く筈なり▲海苔輸出盛況　近來當港を經て移出する光陽及び莞島海苔の數量激增し今月に入りて既に八千五百斤(三千四百圓)に達したるが之等は當地內地人の手を經て一旦長崎へ移出し同地支那人の手により更に支那に輸出するものにして鮮人製の下等品なれど本道に於て獎勵の結果同製造業者を增加し從つて其產出多量となりたる結果なりと▲新水源地視察　來る四月一日通水式を擧行する群山洞水源地工事竣功狀況視察の爲め府協議員福田木村山野高根の諸氏は橋本府尹と共に廿七日出張視察したり

光州

▲優良面長表彰　本道にては先般來道內優良面長の調査中なりしが今般八面長及び四面書記二篤行者に對し時計一個を添へ道長官より表彰狀を授與したり▲學校組合豫算　光州學校組合の大正五年度豫算は歲入經常部一萬四千四百八十九圓臨時部五千九百四圓歲出經常部一萬一千八百九十五圓臨時部八千零三圓にして出入とも合計一萬九千八百九十八圓にて臨時部の增加せしは火葬場新築及び學校の增築あるが爲めなり▲衛生消防組合總會　光州衛生消防組合にては廿八日警察署に於て役員區長有志等の會議を開きたる結果愈々兩組合分離する事となり其々規則を改正し役員の選擧を行ふ筈▲道路改修豫定　本道大正四年度に於て改修完了せし本道二三等及び等外道路は總延長八十六里二十町なるが來年度に於ける改修豫定は七十五里二十九町にして年度替りと同時に著手すべしと▲肥田所長披露　東拓榮山浦出張所長肥田程三郎氏は昨年夏就任せしも未だ新任披露を爲さゞりしが廿八日光州北村樓に工藤長官其他官民數十名を招き披露宴を催したり

釜山

▲府豫算認可　釜山府大正五年度歲入出豫算は慶尙南道長官に認可申請中なりしが二十七日認可の旨指令ありたるも指令書未著なるを以て其の內容を知るを得ざるも大體に於て變更なきものの如し▲北濱突堤地登記　釜山學校組合の不動產たりし地所北濱突堤地は朝鮮興業會社の買收により所有權移轉登記は九月中に第二回拂込を了したる後實行する筈なりしも今回登錄稅令改正の爲め手續中なるが今明日中には代金の受授を完了する由▲司法官宴會　釜山地方法院各支廳判檢事は廿九日午後五時より停車場ホテルに於て鈴木法院長を始め各判檢事並に當地辯護士等盛大なる宴會を開き同十時半解散せり尙各支廳判檢事は卅日歸任す

大邱

▲徵兵檢查日割　大邱に於ける徵兵檢查の日割は四月五日七十九人同六日五十八人にして兩日共午前八時より大邱八雲町淨土宗教會所に於て擧行する筈檢查員は安原第二聯隊長醫官は一等軍醫藤浪謙、二等軍醫山上正雄の兩氏にして受檢者は當日自己の寫眞を攜帶すべしと

清州

▲道長官著任期　新任忠北道長官は出迎のため二十九日上京したる粟道書記を隨へ三十日午後零時半著自動車にて著任し官民多數の出迎を受けて一先づ本町清州館に投ず可し▲鈴木長官赴任期　今回榮轉の鈴木慶北道長官は事務引繼をなし四月一日一先づ赴任し道長官會議終了後家財を取纏め新任地大邱に向ふ筈なり▲長官出迎　慶北庶務主任高橋道書記は長官會議案を携へ鈴木長官出迎のため三十日朝來清す▲政務總監送迎　忠北道齋藤第一部長は二十九日政務總監送迎のため午後四時半發自動車にて芙江に向ふ▲野遊大會　忠北道廳、慈惠醫院、清州郡廳、銀行職員百五十餘名の大野遊宴は廿九日午後四時より清州東公園にて開催せられ非常の盛會なりし

天安

▲卒業生の記念時計寄付　忠南天安公立普通學校第四回卒業式を去る二十三日午後一時より擧行せり來賓は竹下天安憲兵分隊長武宮天安支廳判事半田天安郡書記古川天安尋常高等小學校長及び父兄內鮮人の有志者等なりしが池端校長の開式の辭を述べ君が代を合唱し證書授與校長の學事報告あり生徒に對し將來を訓誡し半田郡書記竹下分隊長等の祝辭武宮判事の忍耐力は成功の基なりとの實例お伽話を爲し以て告辭とし卒業生徒總代の鮮かなる內地語にて答辭を陳べたり而して卒業生二十六名は記念の爲めとて大なる柱時計を學校に寄附し將來思ひ思はるゝの形見とする志は實に感ず可きなり尙ほ閉式の後記念撮影をなし散會せり▲天安の謠曲盛況　天安邑內には目下寶生流の謠流行し師匠は鮮南にて二三を爭ふ有名なる武宮判事にて之れに熱心者は地方の紳士たる…天安邑內各町を通るも謠の聲の聞かざる無き程なり

◎大田より

數年來の懸案であつた大東川改修工事も愈々先月より著手され目下既に其の大半竣工し同時に市場川も立派に改修され本町橋の外三つの新しい立派な橋が架つた斯う立派に出來た處を見ると成程一萬餘圓を費した丈けあると首肯れるが扨て寄附金の募集が旨く行けばよいが此際其の割當を公平嚴正にし市民をして進んで寄附に應じさせる樣にしたいものだ▲目下各學校の卒業期で普通學校は二十三日小學校は二十五日產業傳習所は二十七日幼稚園は二十八日共々卒業式を擧げた▲小學校では現在兒童數四百九十一名中尋常高等及び補習科を合して八十五名の卒業生を出したが尙新學年の入學兒童は百五十餘名あり到底現在の校舍では收容し切れぬので近く埋立地に宏大な新校舍を建つる計畫である▲此の一事に見るも大田が漸次發展の域に進みつゝあるを知るべく當地に中學校高等女學校の設立を望む者あるも一概に空想として斥ける譯にも行くまい▲目下大田の花柳界は一寸沈衰の態であるが桃咲く春も近づいたのと目の前に二百萬圓の鐵道大工事がブラ下つて居るので幾分景氣付いたらしく富士家荒川の大店を始め新開業の當り家へ近く開業すべき驛筑を加へて十二軒の大小料亭何れも相當賑はひ八十名の藝酌婦の活動は目醒しいものである▲十七日夜大田驛勤務の村崎某と云ふ今年徵兵適齡の若者が驛の踏切附近で轢死した其が過失か自殺かは目下問題になつて居るが此の男平生素行治まらず結核性睾丸炎を患ひ且つ市中各所に負債が嵩み遂に厭世悲觀したのだとの噂である由來當地の若い青年中から屢々不品行の者を出せるは前途有爲の青年の爲め遺憾とする處である(蘇湖生)

人事消息

▲石橋忍月氏(長崎辯護士)　訴訟用にて三十日朝入京山本旅館投宿兩三日滯在の豫定

▲神野忠武氏(司法部事務官)　二十八日永登浦分監へ出張

▲永井松次郎氏(在仁川土木局技師)　事務打合の爲め二十八日入京

▲ヘフォー氏(京城駐在露國副領事)　三十日內地より歸京

▲中村竹藏氏(京城覆審法院檢事長)　三十日午前仁川へ出張即時歸任

▲申應熙氏(咸南長官)　廿九日午後元山より入京

▲露國副領事一行(京城駐在)　三十日午前長春へ向け出發

▲岩元三志氏(鹿兒島辯護士)　三十日午前入京不知火へ

▲本田幸介氏(水原模範場長)　三十日午前入京巴城館へ

▲坂東勘五郎氏(德島縣代議士)　二十九日入京巴城館へ

▲柳楢悅氏(新任忠北道長官)　三十日朝任地に向ふ

▲稻木繁五郎氏(總督府醫院敎官)　學術取調の爲め四月一日東京へ出張

畝傍山神武御陵

戰蹟記念碑の建設
奉天其他二十一箇所の都邑に

滿洲戰蹟保存會にて建設すべき戰蹟記念碑は甲乙丙丁の四種に分ち甲は高さ三十五尺、乙は二十五尺、丙は十五尺、丁は十一尺と定め甲種のものを建設するは奉天公園内に一箇所のみにて乙は五箇所、丙は八箇所、丁も八箇所の由にて同會幹事坂部砲兵大尉は右建設の位置選定の爲廿六日旅順出發北方へ向ひたるが碑面の方向に就ては全部北面せしむべしとの說あるも地勢の關係上之を一律に定むること能はざる事情もあるべく位置選定の任に當れる同大尉は重大なる責任を感じ居れり(旅順特電)

讓渡三艦の出航
帝國軍艦として最後の告別

露國讓渡艦相摸、宗谷、丹後の三艦は特務艦隊の護衛の下に二十八日午前九時拔錨吳軍港を出發し浦鹽に向へり之れより先き伊藤工廠長は伊知地長官代理として幕僚と共に旗艦伊吹に山中司令官を訪ひ長途の航海の無事を祈り別盃を擧げて退艦すれば旗艦は信號にて各艦に出動の用意を命じ午前九時伊吹を先頭に光榮ある三老艦は相摸、宗谷、丹後の序列にて油の如き港內を徐々進航を始め帝國軍艦として最後の別れを告げて出港したり此時軍樂隊は告別の曲を奏し在港の各艦は戰時出征と同樣の告別式を行ひて萬歲を三唱して見送れり斯くて艦隊は女島の沖合に出づるや恰も關島灘にて演習中なりし第一艦隊旗艦扶桑の入港するに出會し先づ特務艦隊旗艦より敬意を表せる信號旗を揭ぐれば扶桑坐乘の吉松司令長官は山中特務艦隊司令官に對し『予は貴官の無事任務を完了し歸任されむことを祈り尙航路の安全を祈る』との信號をなし其の行を壯にしたり(吳電)

變裝せる巡防兵
暴動煽動者數名を逮捕す

尖山寨附近農民が家畜稅の苛酷に對し哀願せんと其の地に集合なす者三萬餘人に達したるを以て支那官憲に於ては此れが解散を命じたるも益々喧騷を極むるより殆んど施す術もなく終には商務總會副會長鄂復華に之が鎭定方を托し同地へ派遣せしも更に應せず益々猖獗の狀態に陷りたれば巡警局にては鎭撫方法として囚人の辮髮を切り取り或は衣服を脫がしめて百姓の如く裝はしめて各巡兵に與へて恰かも夫々密命し該地方へ遣はせしが廿六日に至り彼等は尖山寨保衛團長林子芳及び農家に於ける有力者を煽動者なりとて數名を取押へ歸鳳の上知事衙門內牢獄へ繫ぎ種々尋問なし居れど彼等は只知らぬ存ぜぬの外一言も答へず一方農民は

▲三百餘を先頭 部隊として二十六日午後三時鳳凰城を西へ距る五支那里なる二龍山まで押寄せ既に鳳凰城の襲擊に出でんとせし處早くも之を知りし保衛團砲隊馬隊巡警局は百餘の防禦兵を派遣し追ひ拂ひたり然れども農民等は免稅哀願の志は飽迄も遂行せんと放言し各所に集合して形勢不穩なるより支那官憲に於ては其の狼狽一方ならず引續き襲擊を恐れ警選兵をして嚴戒せしむる一方馬鎭守使及び沈知事合議の上上將軍に宛て

▲鎭定策を打電 せしが上將軍よりは匪賊に對する行動に出づるも可也との返電に接したり、因に二十六日夜の氣勢にては或は襲擊あらんかと商家は早くより戶を閉じ日本居留民の中にも婦女子は或筋の命にて附屬地に避難すべく用意を爲す等一時は非常に混雜を爲せり(鳳凰城)

刺刀で殺害す

全北南原郡實節面沙村里農白圭文(二八)は同居中なる亡兄白圭南の妻徐姓女(三〇)が夫[illegible]て同女を居里の山地に連れ出し朝鮮刺刀を以て咽喉部を切りて即死せしめ死體は穴を掘りて埋沒し刺刀は[illegible]

[illegible]洞李永善(三七)は三月十九日韓致成に對し共に酒飲みに同行すべしと誘ひたる爲同人は應せざりしが同日午後[illegible]し治療十日間を要する裂傷を負はしたる爲告訴せられ本町署に引致さる

蝎甫屋荒らし

住所不定の[illegible]り其品物を入質して更に蝎甫買ひを繰返すこと十數回に達し竊取したる金品價格三十餘圓に及び居れる事發覺し[illegible]

帆船難破
大暴風に遇ふ 乘組員の溺死

仁川花町海產物販賣業浦部源太郎(六八)は例年白翎島にて海與採取に從業し居たるが本年も採取時期に入りたるより去る二十一日自己所有の帆船(百二十石積)に同人及び外六名乘組み前記白翎島に向ひ航行の途中二十七日朝仁川を距る百哩の沖合に於て大暴風に遭ひ船は操縱の自由を失ひ遂に轉覆したるため乘組員中浦部は老年の事とて其儘溺死し他の六名は辛うじて同島より八浬を去る無金浦なる漁村に泳ぎ着き救はれたるが二十九日に至り浦部の屍體は同島に漂着せり此報に接し乘組員の遺族は廿九日朝鮮郵船會社の汽船宗信丸に搭乘し同地に向ひたり

大連大火
目貫きの中央通 損害八萬五千圓

二十九日夜大連目貫きの大山通り六〇號地金昌組裏手湯殿より出火し折柄の烈風に火の手は煽られ且つ深夜の事とて市民狼狽一方ならず消防夫等馳せ付け必死となり消火に努力せしも容易に鎭火せず遂に全燒十戶半燒二戶損害約八萬五千圓に達し三時半漸く鎭火せり是れ近年の大火にして昨今小火其他の出火多し(大連特電)

大豹を撲殺す

慶北順興憲兵派遣所にては豹害を根絕せん爲常に豹の棲息地探險に從事し居たるが鮮慶金慶州は榮州郡丹山面山中に豹の足跡あるを認めて捜索の末同山中に二頭の豹が互に頭を重ねて午睡し居たるを發見し上より八貫匁餘の岩石を投下し遂に一頭を撲殺したる爲め警務部には所定の賞與金を與へたり

世を厭うて自殺

京畿道高陽郡龍江面玄石里漢江沿岸に屍爛したる鮮人男の屍體漂著せるより高陽署よりは係員出張取調べの結果玄石里の韓聖西(五七)と判明せしが同人は二月十日無斷家出し爾來四十餘日行衛不明なりし由右同人は常に悲觀的の言を漏らしゐたりといへば多分覺悟の自殺を遂しものならん

全北の山火事

去る十五日午前十一時頃全北茂朱郡管內の國有林より發火し火は見る見る中に燃え擴がり山一面火の海と化したるより之れを見たる附近居住の農民は手に手に消防器を攜へ現場に驅付け駐在所巡查指揮の下に協力消防に從事したるも折柄西南の風強く且つ水の便悪しきため容易に消せず同日午後六時頃まで延燒し松檜其他雜木の生えたる國有林八十町步を燒き拂ひ同時刻に至り漸く鎭火したり原因は樵夫の焚火の殘火が枯草に燃え移り發火したるものにして損害額は目下調査中

橫著なる質屋

京城淸進洞八十三番地質屋業金永瑠(三〇)は壽松洞の李敬天なるものが昨年十二月廿三日より本年一月卅日迄に京城各町の內鮮人宅より竊取したる銀側懷中時計外衣類雜品數十點を前後四十二回に互り其の出所を確めず預りたる爲め質屋取締規則違反として鍾路署に於て罰金二圓の即決處分となる

死刑囚の控訴

咸南安邊郡新茅面公須田洞崔鳳善(二七)は昨年十一月二十七日同面泉內洞朴秉麟が大豆を竊取して歸宅の途中を居洞の路上に待ち受け有合せなる小石を以つて同人の頭部を亂打し十箇所の創傷を負はせて即死せしめ所持金二十餘圓を強奪したる爲め檢擧せられ咸興地方法院に於て死刑の判決となりたるを不服として京城覆審法院に控訴を申立てたり

洗濯料を橫領

岡山縣苫田郡津山町生れ京城初音町居柴田恒次(三一)は同町の洗濯業某方に雇はれ得意先廻りをなし居る中昨年十一月以降本年二月迄に龍山の淺見某三十名より取立てたる洗濯料金十一圓餘を橫領し新町遊廓第一樓其他にて遊興消費し尙新町榮月樓仲居某女より洗濯を依賴されたるお召給一枚(五圓)を橫領したる爲め京城地方法院に於て懲役一年の處分となりたり

遊興費を踏倒す

愛知縣西加茂郡寧得村生れ當時成鏡南道咸興郡咸興面城町居指物職庄田金次郎(三七)は前科二犯の曲者なるが本年二月五日咸興城町料理屋朝日事伊東多助方に登樓し大金を所持し居るものの如く裝ひ代金八圓三十錢の遊興費を仕拂はざりし爲め告訴され咸興地方法院にて懲役一年三箇月の處分となりたるを不服として京城覆審法院に控訴したり

十八棟燒失す

二十六日正午頃全北金山郡南二面尹雲具方より出火し忽ち附近に延燒して住宅十棟小舍八棟を燒失して同日午後七時頃漸く鎭火す損害六百圓なり倘雲具の長男某(五)は此際燒死せりと

洋傘を竊取す

住所不定朴淳根(三)は三月二十六日午前九時頃京城明治町一丁目若佐某方より洋傘一本(一圓五十錢)を竊取し本町署に[illegible]

軍艦生活(五)
賑しい夜の酒保 艦內の娛樂機關

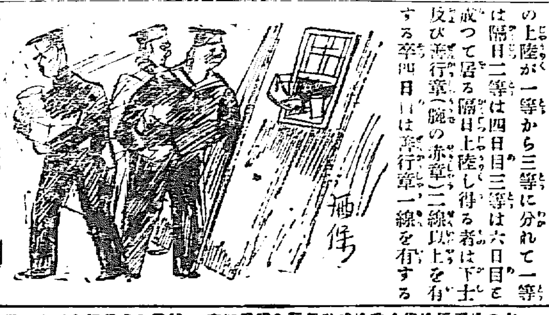
午後一時十五分までの晝休みが濟むと今度は三時半まで柔道、銃劍術、手旗信號、劍術、相撲、體操が有つてそれから三時から別科時間と云ふのが始まるこれはどんな事を爲るのかと云ふと

▽一般水兵に讀書

▼算術作文等を敎へる時間であるそれから三時四十五分から夕食が始まる海軍の夕食は前にも云つた樣に非常に早い夕食が濟むと入湯上陸の喇叭が鳴る四時四十五分に服裝點檢が有つて其れ〳〵上陸が許される事になる元來陸に生れて土の上を驅け廻るべき者が一日も二日も時に由ると一ト月二タ月も海で暮して居る程度の自由を奪はれて居つたのだから

▽此の夕刻上陸が

▼どれほど海上生活の慰藉であるか知れない位である、此の上陸が一等から三等に分れて一等は隔日二等は四日目三等は六日目と成つて居る隔日上陸し得る者は下士及び善行章(腕の赤章)二線以上を有する卒四日目は善行章一線を有する卒三等は一般の兵卒であつて何れも午後七時迄には歸艦する事に成つて居る日沒に當つて



▽軍艦旗の下し

▼方が行はれる揭げ方と同じ樣に非常に森嚴を極める、午後七時三十分釣床を下して寢に就く午後八時に副艦長の初夜巡檢が有る此れから十一時の消燈まで自由で有る此の間最も賑ふのは酒保で有る茶碗を持つて行つて酒を買つて來る者もあれば兩手に一杯にパンを抱へて來る者も有る

▽軍艦の酒保は

▼非常に狹いから酒保の中で食べたり吞んだりするわけに行かぬから皆な各自の室へ持つて歸つて喰べるので有る一方には手紙を書いて居る者もあればパンを嚙りながらお國自慢をして居る者も有る中には一心に英語や簿記を習つて居る篤志者も居る軍艦の中には娛樂機關として大した物はないが

▽尺八は許されて

▼居るそれから圍碁、將棋、蓄音機、輪投げ、デッキビリヤードなどが行はれる以上は普通の日課であつて日曜日には事業と操練とが無くて午前に分隊點檢と人員調査だけが行はれそれから勅諭捧讀精神講話などがあつて午後は全休といふ事になる

新流行の髮形
丸髷と高島田

近頃は束髮よりも日本髮の方が多くなりましたが、これは束髮にしんを入れますので、自然毛が禿たり毛が切れたりする事が多いと云ふ事が御分りになつたからでせう。

▽分け口

この春からの流行の結振りは、前髮は前に低く小振りに取り、髱は中髱をたつぷりと出した者で髷は昨年より少し出加減になつて參りました。日本髮の中では高島田が上中流ともに流行つて居ります。髷は

▽前髷を

隔くイチは瞭り丸味の付かない方が宜しく、根加減は別に變りも御坐いません。丸髷は厚くない髷でイチを立て加減に引きまして、ふつくりと結ぶのが受けます。また根加減は眞中で下り目に見える樣に結ひます。大體は右の樣なものですが細かしい所は御各自の

▽御好み

なりに依つて、少しづゝは相違します。この寫眞のは何方かと申せば粋向で御座います。三髷を結ふ御注意を申上げますと、前髮一つでも長い御顏と丸い御顏とそれ〴〵御似合ひなさいますもので、流行が前髮を立てるからと云つて長い御顏の方も御立になるのは感心致しません

▽流行で

遠々さう侭る樣です。髮を厭るにはしんを入れるよりも髱付を使ふ方が宜しく、前髮に飾合ふ樣に出します。髱挾みは耳に並行して外へ成べく出さぬ樣に留めますと恰好が宜しう御座います 流行型は八千代髷、改元髷で前髮は以前程出さず、

▽束髮の

なつめずに髷を丸く詰め加減に致します。髷は大振なのが宜しう御座います。粋向はこの加減で只髮を斜に扱み長く結げば宜しい。髮と云ふものは三十分でも結へますし、五分でも結へるもので、[illegible]の所を摑むのが秘訣で御座います

入札書畫骨董

四月一二の兩日下見三日開札
忠臣名士の遺墨小切數十枚其他成行賣も澤山に付下見の日時御高覽の上見落し勿れ
定期開會に付別に案內狀差上不申候
京城南山町三丁目
佐々木聚古堂
電話三三三番

成功致富の近道は何か
まづ株式相場をなすに限る 株の賣買は決して危險にあらず
『富强世界』社長 高柳淳之助

▲本社會員の成功者此の如し 本社が株式相場講義錄を發行し昨年八月第一回の修了生を出せしより茲に僅々數ケ月なるも已に多數の成功者を出し會員の利益總高は已に一百萬圓以上に達すべしと信ず中にも新潟縣北蒲原郡の米穀肥料商は僅々五十圓の資金を以て已に一萬五千圓の大利を得、福岡縣糟谷郡の十九歲の少年は一萬二千圓を利し、名古屋市の未亡人は婦人の身を以て僅かに一萬圓を儲けたり。[illegible]

▲今の富豪も株にて金を儲く [illegible]

▲相場に失敗者多きは何故ぞや [illegible]

▲株とは如何なるものか [illegible]

▲株を持つ利益此の如し [illegible]

▲未亡人株の賣買を始む [illegible]

▲株の賣買の利益此の如し [illegible]

▲株の相場をなすには如何 [illegible]

▲株式相場講義錄の發行 [illegible]

▲株式賣買の資金 [illegible]

▲株は何人でも何地でも出來る [illegible]

▲株の相場下らば如何するか [illegible]

▲株式相場の研究 [illegible]

▲空論にあらず實際的なり [illegible]

▲余の採算的相場觀 [illegible]

●東京神田表神保町十番地 富强世界社へ 株式部

天氣 晴れ
三月卅一日

●燒出された俘虜將校

▲負傷者は一名も無い ▲出火の原因は不明

去る二十八日午前九時十分西區木津川尻南岡島町なる獨逸俘虜收容所東北隅の室より出火したる事は既報の通りであるが其詳報を記さんに燒失せるは西門より左手に建連なれる六十坪宛の

□收容室全部 十五棟にして他の大半は幸に慘禍を免かれた同收容所は大阪府の所屬建物にして總敷地坪數八千三百卅五坪の外廓に高さ十尺の木柵を周らし構内の建物は木造切妻形建物現在俘虜の收容室に充てゝ居れるもの五十棟此建坪三千坪同別館一棟此建坪十坪事務室休憩室一棟此建坪十坪の外洗濯場、浴場、門衛、詰所、面會所、看護人控所等十三棟を加へて總建坪三千四百六十二坪五合、總工費十萬四千八百七十三圓を要し、大正三年十一月二十五日第四師團よりの交渉に依り府參事會の決議を經て同月二十七日以降を

□陸軍に貸付 し現在の俘虜を收容し來つたのであるが別に保險等に附してないから損害の程度は一層大なるものであらう而して發火と共に收容俘虜の全員は係官の敏速周到なる措置の下に同構内の廣場に整列避難せしめ些かの混亂なく幸ひに一人の逃亡者をも出さなかつた何分バラツク建の俘虜收容所のとて素破火事よと立ち騷ぐ時分には一大紅蓮の焔は見る〳〵十五棟の大建築を一嘗めにして終つた併し同建築物は悉く將校下士以上の者

□百三十餘名 だけ收容して居たので、案外にも避難せしむるに困難でなく夜間と異つて晝間と云ふことは何よりの取締防火共に好都合であつたと本部の某係官は語つて居た、何にせよ近來の大椿事とて急を聞き付けて本部からは係課長、本部及西、九條兩署からは蒸汽喞筒の外常非番警官二百五十名駈け付け一方陸軍側でも第四師團に急報があると命令一下即時軍隊出動となり師團からは東參謀長、西谷副官、等歩兵第三十七聯隊からは警戒歩兵一個中隊武裝兵一個小隊が西出中尉の指揮で、砲兵隊からは伊藤中尉の指揮で是れも一個中隊程の兵隊さんが何れも息せき駈足の歩調で

□現場へ繰出 す イヤもう附近は物々しい數十名の歩哨が劍光燦と火事場の周圍に展開して居る、附近一帶の廣場には燒出された俘虜將校が安樂椅子に倚りかゝつて、それでも何んだか不安らしく其燒跡を眺めて居る、下士卒などは此處にも彼處にも椅子卓子などの家具を一纒めにして今宵よりは如何に寢さんと云ひたげに春麗な草の上に屯して途方に沈んだ色を見せて居たのは一層に憐らしい、出火の原因損害額などは目下取調べ中であるが附近

□工場の煤烟 がバラツク屋根に飛火したものではあるまいかと專ら噂されて居た兎に角一時は中々の騷動であつたが何分將校下士と云ふ高級な俘虜ばかりが燒出されたのであるから逃去るなどの騷ぎもなく一名の怪我人も出さなかつたのは警官軍隊協力の活動の結果でもあらうが一面彼等俘虜の行動が紳士的で秩序があつたからでもある（大阪）

俘虜の避難

◉溫室で作る醬油

十六年間の苦心研究

溫室での醬油釀造法は明治二十六年特許となつてから一時は全國到る所に流行したが醬油の滋味劣惡なりと次第に衰微し特許期限の滿了した明治四十二年からは何人も溫室醬油釀造を行なひ得るに拘はらず該法を行ふ者は殆ど跡を絶つに至つた併し

▲溫室釀造の醬油 が滋味劣惡なりと一言に斥けるのは誤解であらう何となれば溫室は溫度を與へ物質の腐敗を速やかならしむるが爲め醬醪の早熟を助長はさするが其の滋味の優良若くば惡劣には一向關係はない筈である唯だ從來の溫室醬油釀造法は醬醪の早熟を計るを目的とし

▲之れを完全なら しむる方法を行はなかつた爲め失敗したのである福岡縣田川郡糸田村當時京城大和町一丁目醬油釀造元長末廣吉氏は明治三十四年醬油溫室釀造法の分權を得て釀造をやつたが滋味惡劣であつた併し同一の原料を使用し造つた醬油が何故滋味劣るのであるかを研究した所

▲其の原因大豆を 煎るに在りと知つた爲め直ちに普通醬式仕込法と同一にし釀造した所滋味は良いが多くの時日を要するから尚ほも種々考査を重ねつゝある内其の醬醪の醱酵に從ひ熟成して行く樣に注目した所小麥は熟成頗る早いが大豆は遲い乃で大豆を熟成せしむるには

▲磨り潰すが可い と覺り明治卅五年醬醪を中摺りし其の中摺りを名稱とし特許を農商務省に出願したが或る事情で却下になつた然し其の中摺りの効果は不煎大豆の早熟を助け醬油の滋味を良好ならしめたが然も袋よりの出口惡しく又復不成功に終つた然も氏は屈せず

▲其後研究を繼續 する事十數年多くの費用と研究を重ねた結果溫度の適順に接し醬醪醱酵するに從がひ極要なる手入れの順序食鹽追加彼是使用法配合適理の結果に依り四十二日乃至五十日以内で普通醬式醬油十三箇月以内の物に比し

▲滋味優逸のもの を得る方法を究め得た然るに今も尚ほ溫室醬油釀造が滋味不良なりとて省みぬ者のあるは不可解である依而前記長末氏は一般の釀造家に該法の擴張發展を計らん爲め應用法を傳授するさうだから希望者は氏の許に往訪するが宜い

◉札幌麥酒の需要

大日本麥酒株式會社に於ける記念大賣出しは今迄になき考案にして頗る巨額の景品附なるが目下朝鮮全道を通じて賣行旺盛を極め本月初旬より二十五日迄のサツポロビールの移輸入數は三千八百餘箱の多數に達し尚ほ各地より注文非常に多數に上り居れりと

台所 その日〳〵

▲海苔の佃煮 生海苔を水にて能く洗ひごみを除き揃へ庖丁にて截り、鍋に醬油一杯酒半杯をいれ尚これへ鰹節をけづりて加へ煮出して鰹節かすを漉し、あとの汁へ前の海苔をいれて煮こみ、下ろし際に味淋小匙を加へて能く煮上げます。

越後大評定

第百七十四席　早川貞水口演

百姓問答

いま光圀公が兩三度御尋ねになると漸く圍爐裡の端に煙草を喫つて居た親爺が、咬へ煙管のまゝ立つて來て 爺『ヤア御坐らつしやい 光『めし酒、うんどん御坐えますと書いてあるから、食事を致したいと存ずる、肴は何物があらうか 爺『ヘエ、肴はインクツさ 光『ナニインクツとは何の事だ 爺『蕗と南瓜の煮たのでさ 光『それは食はぬ 爺『其他にはドヽセウでごせえます 光『ナニ? 爺『ドヽセウと云つて鰻の小さいのでごせえますよ 光『アー鰌か濁りを打たねから解らね、それは何うして食ふのだ 爺『此處のドヽセウは羨付けるのでがさア 光『それも不可ぬ 爺『それぢや味噌茄子くれえの物でさ 光『フムー、味噌茄子は結構であらう、鹽釜と味噌、芭蕉が辻に金華山、米と味噌の名物だ、殊に此秋茄子の充分に實の入つたのを、味噌漬に致したのは一段のことであらう、其物にて食事を致して參らう 爺『所が茄子漬で飯を食ふと云はつしても、恰度いま茶を絶らして居てお茶はござりませぬが 光『イヤ却て茶は不可ぬから無くても差支ない白湯の方が宜しい』 其處で親爺が膳立てをして、光圀公主從の前に差出す、召上つて見ると成程茄子の香味のあること味噌の汁を吹出して居る按排、何とも申さうやうがない、そこで御持參の瓢の酒を溫めさせて召上り、其から御飯を御湯漬にして御喫りになると、飯の結構なること、[illegible]光圀公何と云つても御代りをなさる、すると光圀公の一尺三寸もある、白い鬚が如何にも美事で御坐いますから、最前より之を眺めて居つた親爺は思はず前に出て其鬚に手を掛け 爺『斯りやマア何て偉え長い白い鬚だ、 光『コレ〳〵他人の鬚に手を掛ける 爺『何うして此樣な美事な鬚を生やさつした 光『人間と云ふものはな、眉毛でも鼻毛でも鬚でも皆是れ造物主が人間を拵へる時に附けたもので、一として用をなさぬものはないのだ、先眉毛は上から落ちる塵を除け睫毛は前から來る塵を拂ひ、鼻毛は惡い病氣の體内へ入るを防ぎ、鬚は空氣を遮つて溫度を保つ故に鬚は拔くべきものにあらず、又剃る可きものにもあらず、弱い時に鬚鬚を拔き、又剃る時は年齢よりも早く齒を損じ、從つて種々病氣を惹起すのだ、齒の弱きは萬病の原因と云ふ位である、然れば吾四十三の年より鬚を生し、今年七十にも相成るが、未だ齒も拔けず、何の煩ひもないのだ、人間鬚を剃り、髮を拔くさうなが、第一不養生の原因である、爺『ハーテさて恐らかね、道理で爺は齒が一本もねえ、和尚樣は七十でも[illegible]ねえだ、早く剃うと知つたら鬚毛なんて拔くんでなかつた、馬鹿な事をしたつけ、時にお前樣息子があんべえ 光『ウム有る 爺『道樂だんべえ』 光『ウム有る 爺『お前樣、孫があるかえ 光『ウム有る 爺『惡戯者だんべえ』 光圀公の息子樣が、道樂なんて致すものでない、御公達が惡戯なんてするものでない傍に聽いて居る元速は可笑しくて耐らぬ。

泌尿器病 入院隨意（診療夜九時迄）

腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔疾 皮膚病

專門

永樂町二丁目 金光教會隣り 安部醫院 電話四一九番

一お聞きなさい一

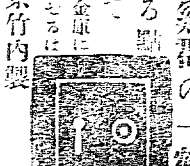
▲紀元以來の大蘇鐵 鹿兒島高等農林學校の肝屬郡牛根演習林附近で發見された蘇鐵は神武天皇以來の古木と傳へられ幹の太さ地上五尺の處で一丈五尺、斜に測れば一丈七尺、枝の數三四尺以上のもの凡そ四十本、占領面積直徑凡そ廿六尺の圓形を爲し兒の數一萬九千三十九個ありと

▲二十五年目に邂逅 讃松市高町勝澤與八弟俊馬(三十)は廿五年前東京美川某の養子に貰はれ十六歳の時浦鹽に渡り外國商店員となり刻苦の結果目下は數十萬の資金を蓄へたが兄與八は十年前失敗し神戸に出稼中先頃商用で浦鹽に赴き滯在中端なくも兄弟の對面を爲し打揃うて歸朝し兩親の墓參をしたさうだ

◉鍛鐵の一鍛!!!

凡ゆる點に於て他の金庫に超越せるは

東京竹内製 ペンテング式金庫なり



京城本町二丁目 熊平支店 電話六二四番 振替京城二三番

四月一日九星 舊二月廿九日 戊辰 木命 八白 艮除 赤口

▲八白 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible] ▲七赤 [illegible]

（商況）

◉解警戒 三月三十日午後九時發北西部の警戒を解く

◉硝子器愈々昂騰 [illegible] ◉洋杯及氷器具 [illegible] 二割以上昂騰 [illegible]

◉増加移出筋は氣迷ひ [illegible]

債券現物特電 [illegible] 公債直取引 [illegible] 深川在米特電 [illegible] 東京期米特電 [illegible] 大阪株式特電 [illegible] 大阪三品特電 [illegible] 大阪期米特電 [illegible] 朝鮮物産特電 [illegible]

雜報

◉石油と眼先 [illegible] 外油側も目先 [illegible] 値上斷念 [illegible] 針に決せる模様 [illegible] 多少引締る方 [illegible]

◉牛皮行悶へか [illegible] 出廻り幾分 [illegible]

各地商況

◉木浦（二十八日の穀物）[illegible]

京城正米 [illegible]

南大門の廻穀 [illegible]

仁川現物市場 [illegible]

下關相場 [illegible]

仁川期米

▲三十日前場 [illegible] 入電に二十錢大上放れ [illegible] 圓九十八錢と安移 [illegible]

釜山穀物市場 [illegible]

市場零聞

▲前場上放れ [illegible] 手仕舞商内にて氣乘 [illegible] ▲當限納會す [illegible] 大解合に十圓 [illegible]

三十日の五月限 仁川米豆取引所 [illegible]

北濱たより

▲郵船の配當 [illegible] ▲砂糖株 [illegible] ▲郵船問題 [illegible]

田中金融部 電話長六二八番 一五二一番

▲五十五錢の最安値顯出 [illegible] ▲無事納會 [illegible] ▲當限受渡高 [illegible] ▲受渡しに就き格付發表 [illegible] ▲新甫内氣配 [illegible] 未だ軟質米の壓迫 [illegible] 除去 [illegible] 三四十錢乃至四五十錢の大上鞘を報 [illegible] 乃至二十錢或は十五錢上鞘見 [illegible] ▲大阪の安因 [illegible]

公告

京城地方法院

左ノ不動產ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス入札保證金ハ各自申出額ノ十分ノ一トス

●京城府崇三洞七拾貳番地
一垈百坪
最低競賣價額金七拾四圓也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
建坪五拾六坪合貳勺
最低競賣價額金參拾壹圓也
右不動產所有者 李完榮
競賣申立人 李富榮

●京城府八判洞
一田八拾五坪
最低競賣價額金五拾壹圓也
右不動產所有者 六丁目貳百拾參番地
●京城府
一垈七拾七坪
最低競賣價額金五拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪貳拾四坪五勺
附屬建物木造草葺平家建壹棟
建坪五坪參合七勺
最低競賣價額金百四拾貳圓也
右不動產所有者
競賣申立人 東京建物株式會社

●京城府參拾六坪
一垈參拾六坪
最低競賣價額金參百六拾圓也
右不動產所有者
競賣申立人 京城十友合資會社

●京城府大和町貳丁目八拾參番地
一垈百八拾坪
最低競賣價額金千貳百八拾圓也
右不動產所有者 大關五郎
競賣申立人

●始興郡北面
一田五拾六坪
最低競賣價額金六圓七拾錢也
同郡同面
一田壹千四百九拾七坪
最低競賣價額金參百拾參圓
右不動產所有者 宋殷植
競賣申立人 元相悅

●京城府桃花洞
一垈參拾八坪
最低競賣價額金參拾圓也
右不動產所有者 洪鍾召
競賣申立人 朴潤史

●京城府
一垈七拾四坪
最低競賣價額金四百四拾四圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪參拾五坪四合七勺
最低競賣價額金五百七拾八圓也
右不動產所有者 柳漢般
競賣申立人 柳瑞用

●京城府
一垈百八拾坪
最低競賣價額金千八百參拾圓也
右不動產所有者 朴宗植
競賣申立人 東京建物株式會社

●京城府安國洞
一垈四拾九坪
最低競賣價額金貳百七拾圓也
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪參拾參坪八合
附屬建物木造瓦葺平家建壹棟
建坪參坪五合
最低競賣價額金貳千四百貳拾圓也
右不動產所有者 孟安宗
競賣申立人 姑珠

●京城府仁寺洞
一垈貳拾六坪
最低競賣價額金貳百拾六圓也
右不動產所有者 柳海
競賣申立人 金泰永

●京城府
一垈
最低競賣價額金
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪
附屬建物
最低競賣價額
右不動產所有者 李範佑
競賣申立人 東京建物株式會社

以上競賣期日ハ大正五年四月十九日午前十時

●京城府西小門町拾五番地
一垈百參拾參坪
最低競賣價額金七百九拾八圓也
右不動產所有者
競賣申立人 東京建物株式會社

●京城府大和町壹丁目拾參番地
一垈
最低競賣價額金
右地上ニ建設
一木造瓦葺平家建本家壹棟
最低競賣價額金百七拾七圓也
右不動產所有者 大村朝
競賣申立人 朝鮮實業株式會社

●京城府
一垈
最低競賣價額金百參圓五拾錢也
右地上ニ建設
一木造草葺平家建本家壹棟
建坪壹坪八合六勺
最低競賣價額金參拾五圓五拾錢也
右不動產所有者 秀島嚴彥
競賣申立人 朴昌基

●京城府古市町四拾參番地
一木造瓦葺平家建本家壹棟
建坪九坪壹合
外ニ階建坪五坪七合九勺
最低競賣價額金千貳百拾七圓也
右不動產所有者 高橋清吉
競賣申立人 釘本藤次郎

●京城府若草町拾番地
一木造瓦葺平家建本家壹棟（一）
建坪拾九坪四勺五才
附屬建物木造瓦葺平家建壹棟（二）
建坪九坪四合
倉庫建坪六坪八合六勺
內建坪參拾四坪八合六勺
最低競賣價額金四百八拾五圓五拾錢
●京城府
一垈九拾參坪
最低競賣價額金千七百九拾四圓也（四）
同上
一木造瓦葺平家建本家壹棟（五）
建坪參拾九坪九合九勺
最低競賣價額金貳百七拾七圓也（六）
●京城府若草町拾番地
一垈五百拾九坪
最低競賣價額金百拾七圓也（七）

●京城府本町參丁目五番地
一垈六拾四坪
最低競賣價額金五千五百五拾參圓也（一）
●京城府本町參丁目八番地
一垈六拾四坪
最低競賣價額金貳千四百參拾貳圓也（二）
●京城府本町參丁目九番地
一垈八拾四坪
最低競賣價額金百九拾貳圓也（三）
●京城府本町參丁目五番地
一木造瓦葺二階建本家壹棟
建坪七坪八合
最低競賣價額金千八圓也（四）
●京城府本町參丁目九番地
一木造瓦葺二階建本家壹棟
建坪拾七坪八合
最低競賣價額金七拾圓也（五）
●京城府本町
外ニ階建坪四拾八坪參合
最低競賣價額金八百五圓也
同所
一木造瓦葺貳階建本家壹棟（六）
建坪參拾五坪參合六勺
最低競賣價額金貳百五拾圓也
右不動產所有者 朴龍圭
競賣申立人 漢城銀行 株式會社百三十銀行
●高陽郡崇仁面安岩洞
右不動產所有者 西山吉兵衛
競賣申立人 契
●高陽郡崇仁面安岩洞
一畑九百拾坪
最低競賣價額金五百參拾壹圓也
同郡同面安岩洞
一畑六百合壹勺
最低競賣價額金六拾五錢也
同郡同面安岩洞
一垈
最低競賣價額金參拾圓也
●宅地
最低競賣價額金九拾也
●山地
最低競賣價額

●同郡同面大水踰里
一山地五千四百八拾壹坪貳合參勺
最低競賣價額金四拾七圓也
一山地五千六百八拾壹坪壹合
最低競賣價額金參拾七圓也
右不動產所有者 寄太郎
競賣申立人 山政十
以上競賣期日ハ大正五年四月二十二日午前十時

寫眞

寫眞出張撮影
寫眞銅版・亞鉛凸版
京城日報社 寫眞製版部

演藝案內

大正館

櫻井町 電話八七三

黃金館

黃金町四丁目 電話二六三七

壽座

本町 電話五七八

須磨の仇浪

四月二日夜より

御菓子 米谷新助

米谷新助 大阪本店
御菓子 御料
御進物

滿蒙處分論

定價金一圓

御園白粉

何故御園白粉は日本一でせう

鉛毒の虞れのある白粉は……惡るい白粉です
ノリノビの良くないのは……惡るい白粉です
つけて斑點が出來るのは……惡るい白粉です
顏が人形の樣に光るのは……惡るい白粉です
顏が濃化粧で硬ばるのは……惡るい白粉です

是等の欠點の絕對にない御園こそ日本一の白粉であります。

定價表			
御園白粉	金二十錢	金卅五錢	金七十五錢
同特製	金卅五錢	金五十錢	金壹圓
御園水白粉	金卅五錢	金五十錢	
御園紙白粉	金十錢	金二十錢	金五十錢

御園化粧品製造本舖
伊東胡蝶園
東京市芝區芝公園 電話芝七四七 九九四二 振替貯金口座東京七四六六番

御園化粧品發賣元
ミツワ石鹼本舖
丸見屋商店
東京日本橋區通油町 電話浪花三〇 三四八四 九四四〇五 振替貯金口座東京七一〇番

女といふ女の方の

肌身離さず御愛用遊ばす御化粧料は

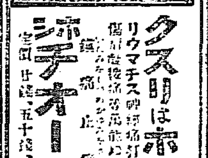
ホーカー液

東京で一番よく賣れる美人さなる

御常用なされば、色を白く、キメを細かに自然の色艶を發揮するさいふ獨自の効果あるホーカー液は絕えず研究の結果、彌が上にも品質が改善せられて居りますから、その効果も愈々著しく、只今では、東京の御婦人方でホーカー液をお用ひ遊ばさねば恥の樣になつて參りました。

一番きれいにならなくつく
定價一瓶廿五錢

本舖 東京和泉橋 堀越嘉太郎商店



クスリはホシ

リウマチス神經痛打身切傷
ホシチオール
定價廿錢・五十錢・一圓

晝夜大賣出

日晋閒 大割引
見切品澤山

仁川米豆取引所

京城日報

第三版

大阪期米特電（三十日）

▲開散保合ひ

三十日の五月限　十圓六十錢

前途尙は悠々

京城日報

今日獨逸がヴエルダン要塞戰爭に最も努むるに拘はらず、世間却て平和回復の至れりと爲すもの多きは、蓋し…要塞戰爭は、獨逸等佛獨兩國の最後の努力を致すものにして、此戰爭の勝敗如何は…兩國…平和…するものなり…、常に媾和運動の…を…して、是れ獨逸…に於て、常に有利の形勢を占むるを以て、早に及びて戰局を收むるを最も便とするところ、此度も獨逸政府は…交渉に…るに、媾和の時を以て…、逆に媾和交渉の意思あるにこれ由るべし、…佛國政府…要塞陷りて…したりと傳へ…、英國…困弱に措へざるが爲め、…或は獨逸も亦嘗に…此に依りて、外交上の奇…からむとするものなるや、未…べからず。…此は、由來戰爭を永引かす…其敵を苦しめ、窮乏…に起つべからざるの極に陷れむとするものにて、英國政治家の如きは、少くとも三箇年以上、五年、七年戰爭を持續するをも辭せずと爲す所なれども、戰爭を永引しなりとて、必ずしも敵を苦むる能はざるのみならず、自己亦幾多の痛苦を嘗めざる可からず、佛國內閣員が代議院に臨みて、戰局終結の時機近きたることを、公言せるごときは勢に其心に動く所のものを示す所以なるのみならず、且英、佛、露、伊諸國、巴里に於て經濟會議を開催し、我國をも此に誘致せるは、何人も知る所にして、若し之を以て戰爭に關する經濟上の協議を爲すものとせば我迂遠空疎を指付せざるべからざれども、開催者の本旨は、今日に於て平和回復後の財政方針を、相協定するにありて存し、乃ち聯合國側、亦…戰らずして、平和回復を急…するものたらずや。…雖も、ヴエルダンの一戰は…果して戰局を終結するだけの効果を…するか…兩軍の爭ふところは、塹外戰線の得喪にあり、聯合軍側は、獨逸の犧牲の多大なるを見て其を失敗に歸したりと爲すも、獨軍は遲々ながら…進め、今や其一步其陣地を…ダン市に迫り、火災を起さしむるに至れりと云へば、軈て要塞の本攻擊を開始するに至るべく、此要塞攻擊にも失敗したりとて、直ちに獨逸塊伺國の屈服、和を乞ふを見るべしとは信ずべからず、之に對して、萬一にも要塞陷落し、若くは沈默したりとて、佛蘭西が降服すべき道理なし、乃ち今日敵味方共に、平和回復を急ぐの情ありと雖も、現狀の下に於て、和を講ずるとむふをは、恐くは難かるべく、戰局の前途、猶ほ悠々たりと觀測するを當れりとすべし。

京城雜筆

山縣生

▲昨日の京日は一好消息を掲載したり曰く、京城商業會議所は京城をして小工業地たらしめんとする理想よりて、家庭の內職又は現在京城に住居する內鮮人五萬の無職業者に適當する家庭工業を選び、會議所は其仲介者となりて、原料の供給又は製品の販賣を行ふ計畫ありと▲京城に遊食者の多きはかねて聞きたる所なれど、其數五萬に上ると聞きては驚かざるを得んや。彼等のうちには性來の怠惰者も少なからざるべし。されど働かんと欲するも職を得ざる者も多からん。此等の者を助けて生產者たらしむるは、彼等自身の幸福なるのみならず、社會一般の利益を增進する所以なる也。▲されば這般の京城商業會議所の計畫は頗る歡迎すべく、吾人は其の速に實行さるゝを切望す。假に五萬の無職者が一箇月一圓の收入を得るとするも其全所得は一箇月五萬圓一年には六十萬に上る。それだけ京城の富が增加して、其繁昌は增進すべし。▲新政の效果と經濟的壓迫とは相待ちて近來次第に鮮人を勸勉なる人民と化しつゝあり。記者の狹き見聞によるも、鮮人の職を求むる者甚だ多きを知る。働くを欲せざる者は濟度し難し、然れど働かんと欲する者に働くべき途を與へず、彼等をして失望落膽せしめ、自暴自棄に陷らしむるが如きは彼等の指導者の之を防止するに最も力を盡すべき所。記者は商業會議所を始め、其他商工界の牛耳を握れる人々が此方面に於て努力を吝まず、外國に於ける如き忌はしき勞働問題の、永劫に我京城の平和を亂すなきを願ふ。▲記者が事新しく指摘する迄もなく西洋に於ては失職者の爲めに職業を紹介するの役所あり。京城に此種の施設あらんには雇ふ方にても雇はるゝ方にても頗る便利ならんなれど、經費其他の關係上直に之を見るは難かるべし。記者の記憶にして誤りなくんば若草町に私立の勞働周旋所あり、又基督教青年會にても同樣の働きを爲し居れり。唯資金の乏しきが故に、共にいまだ大に活動するに至らず。何人か博愛家の大に此事業を後援することこそ願はしけれ。

北鮮の山水（24）

東拓理事　村田俊彦

八、咸南の蒲輪

蕭愼の舊居

閑話休題香俗語休題、北靑と新昌との間に蕭愼の舊居と稱せらるゝ所あり。北靑平野の北方に蝸を負ふ。秋日清光を懸け悲風重休を繞る。蕭愼は此地方に於ける最も古き族にして周代にありても既に其名を知られ後遂に國を成したりと云ふ。但し其名は國と稱するも其實は酋族の大なるものなりしならん。今より一千乃至二千數百年の民なり。或書には蕭愼は即ち挹婁なりと說き、或書には挹婁の前に起りたる國なりと云ひ、或書には挹婁の後に起りたる國なりと稱す。蓋し挹婁も此邊にありし國なるなり。此の如く種々の說を生ずる所以のもの、當年の史書詳を傳へざるにもあるべしと雖も、或は在住の所の如何に關せず、民族を成せる時を本位とし、或は民族を成せる時は暫く之を措き、或所に在住せる時を本位とする等、標準の時を異にすることも亦其一因を爲すものなるべし。又或書には蕭愼は黑水靺鞨なりと稱し、或書には黑水靺鞨は蕭愼の舊地に據れるものなりと說く。其名を史上に著はすこと蕭愼は靺鞨より古ければ、其旺盛の時代に依りて此を論すれば、後說或は正しからんか。而して人種が靺鞨族と同一なることに就ては、諸家一致して異議なきが如し。要するに咸南の地は李朝の統一に至る迄は、一度朝鮮の版圖に屬し、又一度鮮外人に侵されしと雖も其他は總て靺鞨人の有なりしなり。名は蕭愼と云ふも、勃海と云ふも、女眞と云ふも、其種族より見れば皆靺鞨族なりしなり。唯或は其部を異にせしのみ。蕭愼は古昔我國とも交通せり。我國には『ミシハセ』と呼ぶ。欽明天皇五年には其民佐渡に漂流して食に充て又民家を掠奪せしが、後遂に水を飲み雜に中りて死するもの多かりしと云ふ。之は民の漂流に過ぎざるが齊明天皇の朝には阿陪比羅夫を遣して斯國を討たしめられしことあり。天武天皇の時には新羅の使に從うて斯國人の來朝せしことあり。持統天皇の朝には斯國人に位を授けられたることあり。北靑の平野が蕭愼の本據なりしことに就ては、異說あり。然れども余は之れに與せず。種々の理由あれ共…

卅一日朝刊（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金五錢　一ヶ月金六拾五錢　…

廣告料　…

發行兼編輯人　…
印刷人　…
發行所　京城日報社
電話　…

隣邦時局の觀察（四）

布施知足

滿朝の滅亡は既成の事實であり、又充分作れるだけの理由があつて作れたので決して外部から無理に推仆したのでは無い、それは兎も角滿朝時代には皇帝と總督巡撫とは其關係君臣であり、總督巡撫の權が如何に重くとも天子の一令には正面から楯附くわけに往かなかつた、革命以後都督の權は表面昔の總督よりは落ちてゐるが其代り部下に多くの家隷郎黨を養ふやうになつて都督が地方に於ける勢力は却て堅くなつたやうに思はれる、中央集權思想の爲には成るべく都督の權力を殺がなければならぬ、さればとて中央政府殊に目下の袁政府には命令で之を遂行する實力が無い、元來袁政府は安協で出來た政府であつて實力の事で反對者を壓倒して出來た政府では無いから地方の都督殊に革命派の都督に對しては一目も二目も置いてゐた事は想像に餘ある、かう云ふ點では袁氏の位地も隨分困難なものであつたらしく既に地方都督の權を殺いで其位地を推下げる事が出來なければ先づ自分の位地を高め之によつて自己の權勢を增して以て地方都督に臨むの外は無い、依つて以て袁氏が帝政運動の原因には有意識無意識は兎に角此中央集權の思想が寧ろ其骨子を成して居るのでは無いかと思はれる…排袁論者の如く偏に辣な道義感情から見ると之は或一派の論より觀察すべきものでは無くて立派な政策上の問題として考察すべき價値あるものである、故陸奧伯の蹇々錄を讀むと二十七八年の役日本が支那と戰を交へた其最初の宣言は韓國の獨立を擁護する爲とあつた、陸奧伯の務では日本の出兵も戰爭も皆政治問題として取扱ふ外には何の餘地も無いのに拘はらず日本の國論は專ら之れを道義感情の上から讚美して一齊に義俠の出兵を唱へ伯は之が爲に大分迷惑を感ぜられたとある、目下の支那問題でも論者の所論は往々其立脚點を道義感情論に置き政治問題として之を考察する事は却て大に閑却されてゐる傾がある、排袁派の所論に至つては殊に甚しく排袁を以て東洋道德の根本を擁護するやうに唱へてゐる者すらあるが、かう云ふ論には吾々は寧ろ反對を唱へざるを得ない。

京日詩壇

○題壁間畫松　安永春雨

韋家健筆一株松、偃蓋矯々百尺龍、掛草堂佛鶴靜、茶煙裊々白雲封。四月…天籟遠風靜…老翠…鐵…雪浪…他日若邏京洛市、紅塵怡染後凋容。

評曰　詩亦蒼然自在

○同上　仙島　紫峰

偃蹇孤松抱翠竣、雲來雲去自非凡、龍勞…聽…白鶴一聲紅日銜。

評曰　巧緻、蓄手不及

○同上　岡山　牧雲

勢似龍蟠最勁健、蒼聞颯爽欲生風、澗不改蒼蒼色、坐覺堅心今古濃。

評曰　詩亦勁雄

○同上　木田　芳洲

老幹亭々…雄姿活躍…中、餘…句毫鋒…疑是蒼龍嘯起風。龍驤風動翠…誰識傲霜凌雪姿。是稜稜君子節、詩人座右欲成師。

評曰　諸諸快壯、風趣横生

日報歌壇

（投稿より）　芥川　蝸牛　選

すべなしにベットに投げし妻が脚指の先まで靑ふくれたる

心臟に氷嚢を釣り置きたれば乳は絶えんとなみだぐむ妻

兒に乳をやられざりければかほどはる乳を搾りて日に日に捨つるかや

病める身の乳やりければ兒は病むときときと悲しく淚ぐむ妻

太脚のしびれにおはれ滑き處なきが如くに寢返れる妻

日報俳壇

雉子郎選

春曉

春曉や窓をを寫して湖畔茶屋　東村

港出て春の曉窓に見る　夢村

春曉や離愁を我に眠さぬ兒　北星

春曉の欺乃眠き樓下かな　湖外星

春風

春風や烙印まざと種馬の尻　韮城

數の子に求むる土産春の風　穗波

溫泉の宿の丹塗の階や春の風　葉堂

春風や岩間の草の香高し　天華

…て落貫や春の風　浦子

實益一途の有隣堂

田林雪也理學士著　實地即驗…法（十版）送料共七十六錢

工藤…君著　わかり肥料の話（…版）送料共十七錢

山本久助君著　…米…栽培法　送料共四十四錢

水田…君著　…栽培書（三版）送料共一圓卅錢

…園田君著　…養成…　送料共十七錢

松澤…水君著　雛の養…（第三版）送料共卅四錢

養鷄十二ヶ月

東京京橋南傳馬町　振替東京六九六番　有隣堂　各地特約

京城春川間自働車運轉　京城發午前八時、春川發午前九時　京城南大門通一丁目二十二番地　廣橋京春自働車組　電話二一九番　主務…

小學卒業生救助船

會長　正三位　尾崎行雄
學監　文學博士　遠藤隆吉
理學博士　山內繁雄

中學講義錄

改版刷新　學制改革　學年短縮

申込次第見本附規則書御送呈　京城觀水洞　大日本國民中學會朝鮮支局　此際入會者特別學費大減額…

長谷川商店

銀牌受領
石灰は長谷川限る

□建築用　□工業用　□壁塗用　□消毒用　□肥料用　□セメント　□左官材料　□其他一式

製造　京城工場京城麻浦
長谷川商店
電話三八三番

伯爵松浦厚閣下題辭
杉本文太郎先生新著＝新刊＝

茶室構造法圖解

○菊版全一冊美裝釘　○紙數百六十頁總かな附　○構造圖面二十五枚

○正價金貳圓五拾錢＝內地寄留送料金十二錢＝滿・韓・臺・樺・送料金十九錢

目次大要◎第一章＝喫茶と沿革十四項目◎第二章＝茶館と本領十二項目◎第三章＝茶人と系譜五項目◎第四章＝茶室と主旨九項目◎第五章＝茶室と構造十項目（一）茶室と配置五項（二）空氣と光線三項（三）棟と屋根三項（四）躙込と衝揚窓四項（五）柱と軒三項（六）中柱と棚二項（七）天井と疊三項（八）壁と腰張三項（九）床と種々七項（十）躙上と貴賓口三項（十一）火燈口と勝手口二項（十二）爐と水屋四項◎第六章＝構造と圖解○第一圖（三帖大目本勝手）及仕樣書○第二圖（四帖大目本勝手）及仕樣書○第三圖（三帖向切本勝手）及仕樣書○第四圖（四帖半本勝手）及仕樣書○第五圖（二帖大目向切本勝手）及仕樣書○第六圖（二帖隅爐本勝手）及仕樣書○第七圖（三帖向切逆勝手）及仕樣書○第八圖（平面參考圖二葉）○第九圖（中潜）及仕樣書○第十圖（各門）及仕樣書○第十一圖（待合）及仕樣書○第十二圖（腰掛）及仕樣書○第十三圖（雪隱・手水鉢・塵穴）及仕樣書（以上）茶室構造法を最も通俗的に著作せし新書にして、實に斯道稀少の好參考書也平易詳述圖解總かなつき何人にも實地應用施工の良師友と信ず。

好評嘖々たる本邦唯一の珍書六種

（天覽・台覽）日本庭造法圖解　杉本氏著　全一冊　△正價金二圓　△內地送料金十八錢　△滿韓臺樺送料二十五錢

（天覽・台覽）西洋庭造法圖解　（同著）全一冊　△正價金二圓　△內地送料金十二錢　△滿韓臺樺送料二十一錢

（天覽・台覽）圖解日本座敷の飾り方　（同著）全一冊　△特價金二圓　△內地送料金十八錢　△滿韓臺樺送料四十錢

日本住宅室內裝飾法　（同著）全一冊　△正價金一圓　△內地送料金十二錢　△滿韓臺樺送料廿九錢

日本住宅日本各時代室內裝飾法　（同著）全一冊　△正價金二圓　△內地送料金十八錢　△滿韓臺樺送料二十五錢

日本住宅室內飾り道具圖解　（同著）全一冊　△正價金二圓　△內地送料金…　△滿韓臺樺送料…

發行所（東京市京橋區南槇町十三番地）（…電話京橋四七七）

京日案內

普通（一回…）

▲學生諸氏　▲前學期分の御不用の教科書類高價買入　京城本町二丁目二五二セツウボヤ書店　463

▽貸屋入用　年齡卅歲前後の者市內に確實なる保證人を要す　京城本町へ電話一一二目下部寶揚　7

◎證人入用年十八歲より卅五歲までの店員數名至急入用希望者は來談あれ　京城本町二丁目地前島田金物商店電話四九　476

◎時計…入用年齡十五歲より十八歲迄の者市內に確實の保證人要す　京城太平通電話二四二五商井時計店　494

▲古本買入　▲御報知次第參上　▲地方即時送金　京城本町電話二九二セウツボヤ書店　560

▲古本…品揃ひ…に付無比高價買入　御一報次第參上　▲京城本町四丁目電話二七八一番へ　書肆龍書堂　565

番外（一回前金…）

各種萬年筆修理應…方よりの修理は往復…　京城若草町一六四　秋田…

圍碁特別大會（會費二…）正午より開催　賞品…一等…　商品切手…等…

◎農場又は技術…を年へたる青年更に學術技藝を専攻する…被履度

藥學講習所生募集　受附三月卅一日…　込お規則…長谷通…

鑛物各種分析所　京城太平町二の二五　坂本分析所

支那…

電話…（京城）　御希望の御方は…龍山電話二四六…　5

店員募集　要保證人至急…直接面談あれ　京城本町三丁目　森川雜貨店　6

花柳病外科専門　入院隨意　京城南大門通（農工銀行裏）　司生堂醫院　434

▽梅毒妙藥　◎渡邊藥劑師　責任製劑　京城南大門通電話二五八三番　救世藥舖　446

◎電話二千五百九十五番◎　はねつき治療　◎明…　仁壽堂　546

皮膚病花柳病　京城…電話二一〇三番　須古醫院　551

內科見科　京城本町二丁目元中島病院跡　呼吸器・胃腸病・病院隨意（入院隨意）　山田醫院　電話二八八番　574

◎聯合大會決議

最後の勝利迄戰爭を繼續 敵國への物貨輸出を防遏

巴里來電に曰く聯合國大會議は滿場一致を以て左の議案を可決せり（倫敦電報）

（一）聯合國の經濟外交並に外交上の協力を完全にし最後の勝利を獲得する迄戰爭を繼續する事

（二）敵國への物貨供給を防遏する手段を講究する爲め巴里に常置委員を置く事

（三）中央貨物局を設け敵國の物貨輸入を防ぐ爲め海上に於ける責任を聯合諸國公平に分擔する事

◎革黨呼應して起つ

汕頭駐在旅團長兵を提げて蹶起

香港來電に據れば淸遠の革命黨旗を揚げ三水の革命黨に呼應し總數一千名を算し事態重大なり又汕頭駐在旅團長は四營の兵を提げて獨立せり（上海電報）

◎塹壕奪取と獨の抵抗

露軍は大激戰の後ポスタウイーの西北に於て敵の塹壕二線を奪取したり露軍の前進はナロチ、ウイシユネエス湖イリヨ湖の中間に於て敵の頑強なる抵抗に遭ひ中止せり（倫敦電報）

◎獨軍飛機破壞さる

巴里發表の公報に曰く敵國飛行機隊はサロニカ港內に在る軍艦の上に襲來せるも其の目的を達し得ざるのみならず飛行機二臺は破壞せられたり獨飛行機の投下せる爆彈の爲めサロニカにて即死者二十名負傷者卅餘名を出せり（紐育電報）

◎伏見若宮病狀

佐藤博士の急行

伏見宮博義王殿下其の後の御容態は御良好なりと承はり居りしに二十九日來御異變ありし由にて佐藤博士は三十日午前八時東京驛發急行列車にて江田島に直行せり（東京特電）

◎陸相任命發表

岡陸相辭表御聽許の御沙汰ありたるを以て三十日午前十時宮中御座所に於て大隈首相代理一木內相鷹司侍從長侍立左の如く親任式を行はせられたり（東京特電）

陸軍次官陸軍中將從四位勳一等功三級 大島健一
任陸軍大臣
依願免本官 陸軍大臣 岡市之助

◎陸軍次官確定

大島陸軍次官の後任は現軍務局長山田陸一氏に決定し四月一日陸軍の大異動と同時に任命せらるべく更に同局長後任の任命ある筈也（東京特電）

◎奉天軍強更

[illegible]家の大計を顧みざる如き態度に出でなば飽まで武力を以て之を膺懲せざるべからず[illegible]奉天[illegible]準備を整[illegible]自家防衛を主たる動機とせるものに[illegible]軍界の[illegible]商界[illegible]

船の後水雷を發射され米國人一名即死せりとの報告に接したりと（華盛頓電報）

◎立花總長親補

四月一日を以て第十九師團新設さるるに就き之れと同時に朝鮮總督府警務總長立花中將之が師團長に親補さる、外二三師團長の異動を見るべし（東京特電）

◎遞信新營計畫

遞信局に於ける本年の新營計畫は大邱郵便局の新築並に地方局の增改築に過ぎず經費の關係上頗る縮少せられ居れり尙ほ平壤郵便局電話の新市街移轉問題は地方の要望切なるものあれど本年度の豫算に計上せられずと

◎特別準備調查

土地調査局に於ける準備調査は作業大に進捗し四月中を以て殆んど其全部を完了する見込なるが只だ西北鮮に於ける特別調査は申告書取纏不完全なる地方あれば多少の遲延を免れざる可し本調査の施行區域は[illegible]、平安南北、黃海及び[illegible]各道の一部にして同地方は殊に[illegible]多く之が調査は昨冬より今春に亘り寒氣劇烈の候なりし爲めと[illegible]に依り普通の調査を行ふ能はず、隨つて多少調査の方法を改正して之を第一第二の兩期に分ち第一期に於ては面洞の境界調査及び申告書調製に關する說明其他各種の取調を爲し、第二期に於ては地方廳に於て取纏めたる申告書の檢査を施行し、之を受付けて紛爭其他に付き[illegible]者に[illegible]府に[illegible]手續を[illegible]點はよく出願者の[illegible]郵便局又は總督[illegible]の往復をなし混雜を招く樣のこと無く日中の執務時間に至りて出願手續を爲すべき樣心得られたしと當局者は語れり

◎鑛業出願注意

新朝鮮鑛業令は愈々四月一日より實施せられ新令に於ては鑛業は出願者に許可する規定なるが爲め動もすれば一日の中にても時間の先後を爭ふべきものと誤解し、特に四月一日に出願書を提出する必要ありと思惟する者ある由にて之れに對し注意は過日の紙上に記載せし通りなるが更に繰返へし一言せんに新條例の如きは全然誤解にして[illegible]に於ける[illegible]に就ては[illegible]の日[illegible]先なる者に許可する[illegible]の[illegible]にても其年前なるものは其の[illegible]郵便に附すると[illegible]を問はず何等差別なく同一の取扱を受くる[illegible]願者として全然同一[illegible]に依りて[illegible]ものなり故に、新鑛業令に依りて出願せむとする者は徒らに一日に[illegible]一日の[illegible]を爲すの價値少しと[illegible]一應取調を爲すの方法を取れり、而して申告書の取纏は從來調査局の出張員悉く之に當り居たるも本調査に在りては郡又は面に於て先づ取纏を爲し調査局員は其纏りたるものに就き更に取纏を爲すこととなり居れり因に準備調査終了後は測地外業班出張測地に着手の筈なるが申告書取纏不完全のものに就きては同班に於ても亦之れが訂正に當る可しと

□國境間島（五）

嶽山生

【金融】金融機關としては、局子街に支那吉林官銀號の分號ありて、今や其官帖發行高は、一億八千萬吊に達すと稱せられ、現金準備は四分の一ありと云へど、事實上不換紙幣の位置にあり、而かも支那動亂の影響と、吉林省財政の困難とは、容易に之を整理するの餘裕なく、資金に窮する每に濫發し、濫發打續けば隨て下落し價を底止する所を知らず。今日にては[illegible]大に[illegible]、[illegible]當の方法を講じ[illegible]にても移入[illegible]爲すより[illegible]達する一[illegible]、金融[illegible]の不備に[illegible]なりと云ふ可[illegible]

とす。即ち大別すれば葉錢、銅錢、銀貨の三種の外に、吉林官帖、日本紙幣、朝鮮銀行券、露國紙幣等也。普通支那銀貨と稱する五種の銀貨あるも、吉林省製造のもの以外は信用薄し。次に日鮮銀貨は實際に於て、支那貨より價高きに拘らず、零碎の使用には猶々支那貨と、同一價格に協定せられ、不便少からざりしも、近來鮮貨の流通多くなり來りたると、且つ十錢銀貨十枚が、一圓と同價格なることを會得してより、漸[illegible]間[illegible]價格に[illegible]

なきに至ることあり。間島の中樞地たる龍井村を中心として、各地に通ずる道路の重なるものは龍井村、會寧間十三里、同頭道溝間五里、同局子街を經て吉林に至るもの九十里、同鍾城を經て琿春に至るもの二十八里なり。

【通信】龍井村に日本郵便局ありて內地其他に通信の便あり。局子街には支那電報局所在して、支那內地への通信を行ふ龍井村の日本郵便局にある公衆電話は龍井村、局子街、頭道溝に設けたる支那側の公衆電話と共に、三面坰間又は會寧、淸津[illegible]と通話自由なり。日本郵便局は龍井村に本局、局子街に分室を設け、[illegible]頭道溝、百草溝は三日每に一回、龍井村[illegible]集配、百草溝間は每日一回、[illegible]村、會寧間は隔日の集配を爲して何等の遲滯なし。支那側は本局を局子街に置き間島內樞要の地に[illegible]隔日に集配を行ひ居れり。

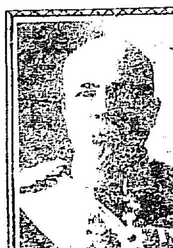
◎朝鮮煙草界の競爭戰

合同問題の頓挫＝自熱戰來らむ

▲自由行動乎 從て朝鮮事業界の視聽を聳てしめつゝありし東亞煙草會社對廣江商會の合同問題は兩者の間に種々曲折あり久しく混沌たるものありしが最近に至り該問題の色彩頓に鮮明となり協商合致す可能はずして茲に一頓挫を來せり而して合同問題に對する兩者の關係は客觀的に未だ此を以て全然斷絕したるには非ざるも一度協商の頓挫したる以上は兩者間今後更に激烈なる競爭の開始せらるべきは勿論にして東亞に於ては今や販賣所長の入京を機として一大活動を開始せむとし廣江に於ても亦鮮內各方面に人を派して對策する所あり兩者の陣容は著々整ひ弦上の矢は將に放たれんとし朝鮮煙草界の暗雲頗る密なるものあり

▲兩者の準備 斯くの如くして朝鮮煙草界の双璧たる東亞並に廣江が一層競爭の態度に出づる以上は今後兩者間に於ける白熱戰の如何に猛烈なるべきかは想像するに餘りあり現に今日に於てすら亂競爭の結果生產費の極端なる節減を餘儀なくせられ爲めに彼等當業者が工場に使用する多數鮮人勞働者の賃銀にまで喰入りて之を減額し其生計を壓迫する狀に在り又商策上抗爭的手段に出で販賣店の爭奪等の如き其裏面に立入りて見る時は兩者の態度は競爭と云ふよりは寧ろ破壞行動の狀態にて現狀斯の如きに加ふるに今後一層の亂競爭の繼續せらるゝに於ては其間生ずる弊害は實に甚だしきものあるべく朝鮮產業穩健の發展に就ては官民一致協力以て之を期成すべき當局の大方針なるに拘らず兩者が假令自衞上とは謂へ互に競爭を是れ事とするに於ては日本煙草の聲價を內外に失墜し折角增進好調を保ちつゝある輸出力を減少し弊害は啻に之に止まらず支那方面に猛威を逞しうせる英米トラストをして再び此間隙に乘じ來るの機會を與ふべく斯の如き

◎朝鮮の新事業



新任陸軍大臣 陸軍中將 大島健一氏

◎忠北の新事業

忠淸北道大正五年度豫算は過般來編成中なりしが今回漸く確定を見たるが歲入出共に四萬一千二百三十圓內經常部六萬七千八百零八圓同臨時部七萬三千四百三十二圓なり今左に新事業の大略を記さんに

▲土木 四年度末現在に於て道內の一二三等道路の開通せるもの延長三百里に達し殆んど豫定全部の開通を見たるが未だ架橋及び一部の工事の個所等ありて完成に至らざるあり五年度に於ては主として之等の完成を期する方針にて沃川報恩間及び瑞山槐山間等主たるものなりと

▲水利 五年度に於て淸州より米院に至る街道に沿へる休岩洞附近に一千七百餘圓を投じて面積七町餘の大堤堰を設け耶蘇教會堂前より淸州分監前を通過して淸州市街の北郊に連亙せる百七十町步の畓に灌漑すべく尙未だ具體的の表の運に至らざる由

◎吉野博士入京

東京帝國大學教授法學博士吉野作造氏は滿洲方面の政治關係其他視察研究に赴く途中三十日夜九時南大門驛着にて入京旭町二丁目瀨戶潔氏方に投せり京城滯在は一日間にして直ちに北行し四月中旬再び歸東の途京城に立寄るべしと

◎坂東代議士歡迎會

朝鮮視察の爲め入京中なる德島縣選出政友會代議士坂東勘五郎氏のため在京城の德島縣人數名相圖り一兩日中に歡迎會を催す可しと

◎南吉北語

▲月日のたつのは早いもので歐洲戰爭が始まつてから最う二十箇月になる▲其の間に於ける協商側と獨逸側との使用した兵力は驚く勿れ千六百萬と云ふ大したものだ▲卽ち獨墺方は七百五十萬人聯合方は八百五十萬人であるが、之れは戰線に立つた實際兵力であつてこれに後方勤務者などを加へようものなら三千乃至三千五百萬人にも及ぶだらうと云ふ▲朝鮮の人口は二千萬と云つて居るが之れで見ると全朝鮮の人口よりも未だ一千萬多い人間が戰爭して居る譯だ▲歐洲至る處眞に戰死者や、病死者や、戰死者等を合するとは一千六百萬人の中で負傷者に立つた一千六百五十萬人に達するとは驚かざるを得ない▲日露戰爭は世界戰史上の最大戰と云はれて居るが▲戰期も二十個月間で日露兩軍は百八萬人と注されて居る▲今度の戰爭に較べると未だ小供だ▲就職者の數も多いが戰費も大したもので日露戰爭の時には十五億圓かゝつたと云はれて居るが▲歐洲戰爭では全軍の經費を調べて見ると一日一億圓は入つて居る▲面うすれば開戰より今日迄にはザツト六七百億圓は人殺費用に使はれて居る譯になる▲如何に獨逸が强くても人間の種切れには閉口せざるを得ないだらう▲英國なぞがマアゆつくりやるサと極め込んで居るのは獨逸の足許を睨んで居るからだ▲獨逸側の敗北はそろ〳〵時日の問題になりかけて來た

◎昨年遞信收入

大正四年度に於ける朝鮮遞信收入は一般經濟界不況の爲め豫算額に比して[illegible]は及ばざるべきも前年度收入三百七十五萬圓內外の增加ならんと

[illegible]は單に[illegible]業界のみならず朝鮮產業界に對しても影響する所大なるべく一般に觀察せられつゝあり

[illegible]たるが有[illegible]にして最も[illegible]したる[illegible]を[illegible]汚水の停滯を防ぎ[illegible]るゝに至れり[illegible]は[illegible]外に私設電話[illegible]に一[illegible]を開くることゝなしたり[illegible]百萬を本年度に於て植付くる豫定也り補助を着手し各郡にて總數一千五年度よりは可成沿道及び郡邑附近よ

▲恩賜授產 臨時恩賜授產事業の一つとして本年度事業の傳習所を擴張して更に講習生を增加し講習生の製織品販賣攻一般の嗜好の需に應ずべしと（淸州）

◎人事消息

▲工藤英一氏（新任平安南道主管）三十日夜入京旭尾旅館へ
▲結城繁氏（遞信採鑛所長）同上
▲恩田與一郎氏（平北鑛業家）三十日朝入京天眞樓へ
▲岩元三志氏（大邱辯護士）三十日歸邱
▲ジョンストン氏（米國鑛山業）三十日夜入京朝鮮ホテルへ
▲ロゴダー氏（米國實業家）同上
▲サルバム氏（米國實業家）同上

社告

記者 日新國政

右忠淸北道地方視察の爲め出張致させ候此段同方面の愛讀者諸君に謹告仕候也

京城日報社

[illegible]月一日夜酒氣を帶び同里酒幕李澤仁なる[illegible]たるを附近の者が介抱して蘇生せ[illegible]方に至り同家に宿泊中の李處仁なる[illegible]りたるを聞きて犯人は姿を晦ました[illegible]者に向ひ散々惡口を吐きたる土李處[illegible]

[illegible]主戰論を致し且病氣を名として半[illegible]月の咽喉を請へり段將軍の主戰論は[illegible]に過ぎざれ共重税と名公債とに民力疲弊し人心平かならざる爲め政爭に關[illegible]奉天省の內國引受公債高は三十萬元[illegible]後一時頃忠南公州郡寺谷面九溪里任[illegible]哲鉉方より出火し折柄の烈風に煽られ忽ち附近に延燒し十七戶二十七棟を燒き[illegible]九時鎭火[illegible]損害[illegible]功城面玉山洞飲食店營業金鍾[illegible]（[illegible]）は三月一日午後[illegible]同洞飲食店營業の金今石（四〇）と共に隣家白八[illegible]より[illegible]

冒險世界

長篇冒險小說號 四月號 定價卅六錢

長篇小說 空中の毒蛇 阿武天風
佐久間艇長の最期の追憶 玉虫生
▲將軍連滑稽物語 山中峰太郎
忠勇の血品 戰死將校の絕筆 松川
▲赤裸にした鬱討講談 カイゼルは馬鹿か氣狂か 摩天樓
▲金鵄勳章年金を全廢せよ……
冒險行爲 黑蛇事件 竹直入
怪奇小說 黃銅の小函 水上規矩夫
▲誰か生を討伐の功績を沒却する者ぞ 平井晚村
▲歷史小說 浪人笠 玉虫生
春浪君の代表的傑作梗概 秋山昌男
現代秘史 巴爾幹の伏魔殿 中澤家康
▲飛行家志望の青年に告ぐ
▲金牌懸賞當選者並に新課題發表
長篇冒險小說 紋血塔 長瀨春風

博文館 東京 振替二番

人蔘エキスは下記諸病に特效あり御愛用の上精力を增進せられよ

警務許可濟

特效能
神經衰弱、老衰、腦病、肺病、痔病、子宮病、胃腸病、心臟病、衰弱不良より起る諸病外用に使ふもよし

定價
金三十五錢
金六十五錢
金一圓二十錢
金二圓

開城白蔘尾蔘大販賣
■人蔘 ■人蔘菓子 ■鶴細工 ■朝鮮土產一切 製藥 飴切
製造元 發賣 京城本町一丁目郵便局橫 電話一四八〇番
津村兄弟商會

農具 養蠶器具、肥料、各種販賣
果樹苗
苹果 祝、國光、倭錦、紅玉、紅魁等各種共……（二年生 三四年生）
梨 長十郎、明月、早生赤、晚三吉等各種共（二年生 三四年生）
桃 天津水蜜、上海水蜜、等各種共……（二年生 三四年生）
其他李、杏、葡萄等多數養成罷在候
速成御希望の向へ對しては四、五年生苗木を提供可致候
右各種苗木に嚴正に消毒して御送附可仕候に付御安心の上栽培被下度
定價表は御一報次第直ちに御送り可申候
京城府南大門外
朝鮮勸農株式會社販賣部 電話長四〇三番 振替口座京城三七八番

大邱高等女學校用教科書販賣
慶尙北道管內國定教科書一手販賣
大邱南旭町小學校裏門前
小西康惠書店

好評再版
夏目漱石
德富蘆花
高山樗牛
國木田獨步
處世眞理二千章
地上聖語
定價九十錢 小形箱入 郵送料六錢 四五〇頁
△△△△△△△△△△△△△
東京本郷千駄木町 發行所 四方堂 振替[illegible]

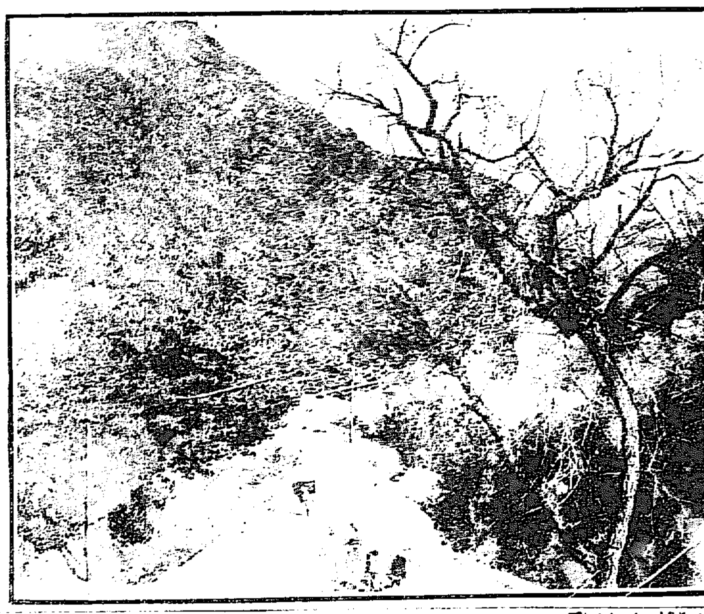
電氣化學科新設
電機學校
電氣化學科講義錄愈出來
豫科一期二期 本科一期 (晝間)(夜間)
生徒募集 四月十一日開始
校外生 講習生
規則書は申込次第送附
東京市神田區錦町三の一八
振替東京一二一八四番
校內生と同資格の通信教授隨時入學

…許さず御不當の要求を提起して匿に單獨名義にて案總辭し強硬な一

●〓信〓勢集難

●公州郡の大火 二十三日午一

●腹部を亂打す 慶北何州郡〓…〓取調中 格鬪となり鍾稷は今石の腹部を亂打して膀胱を破裂せしめ人事不省に陷 郡龍進面前岩里居住所陽面長宋柱南(三七)は常に酒癖惡き男なるが去る二 事局に送らる



□白雲洞國有模範林 朝鮮に於ける模範的造林の一にして北門を中心とし附近約二千町歩に亘る美林なり

●記念植樹

朝鮮に於ける獨特の事業 神武天皇祭を選びて

神武天皇祭記念植樹は朝鮮に於ける特種の事業であつて當日は朝鮮全道を通じ總督を始め各道廳、府郡廳、學校、組合、面、洞、公私立學校、神社佛閣より各團體及び個人に至るまで此の日を以て記念植樹日と爲るの風を馴致した事は最も悦ぶべき美風であつて斯くの如く廣大なる範圍に於て大規模に年々記念植樹を行ふと云ふ良風は

══世界に其の類例══

を見ない處のものである　神武天皇祭記念植樹は併合の次年即ち明治四十四年四月三日に第一回の記念植樹を行ひ既に十回の植付を爲し本年は將に第六回の記念植樹を爲ようとして居る記念植樹は一面森林保護殖林奬勵と相俟つて深く朝鮮人の愛林思想を涵養し今では全道の

══山野到る處蓊鬱══

として昔の面目を一新して居る且つ記念植樹は普通植林の如うに一人の人夫が一日に千本も二千本もの苗木を植付けるのと事異り多數の人々が十本乃至二十本宛割當てられた苗樹を念入りに植付けるのであるから其の生著歩合等も普通の植樹に比して頗る良好の成績を納めて居る誰れしも記念植樹に際しては

══皇祖深遠の偉業══

を偲び奉り其の偉業を永遠に記念し奉り度いと云ふ一種の尊皇心と一つには自分の植付けた記念の苗樹が枯死すると云ふ事は心持の好くないものであるから一層念入に植付けを爲ると云ふ樣な事で記念植樹は普通の植樹よりも何も成績が佳良である

══本社でも吉野櫻══

の苗木を明治四十四年から大正三年まで記念植樹の苗木として朝鮮全道各地の小學校又は官公衙團體等に寄贈した既に最初の分は一昨年頃から芳庇爛漫として大和心を咲き誇つて居る京城に於ける記念植樹は年々府廳より管內の各官公衙公私立學校、神社寺院教會堂又は個人等の希望者に配布し京城府としては年々

══南山公園に植付══

けて居つたが其の苗木の數は明治四十四年に櫻、栗、ニセアカシヤ、ポプラ、銀杏、赤松、シホヂ、楢、榛栽、楡樹、黑松等で一萬五千五十本大正元年は三萬三千四十一本同二年には五萬一千八百四十五本同三年には七萬三千七百六十九本同四年には三萬千三百六十七本であつて此の合計二十萬九百七十二本となるから二割強の枯損があるとしても五年間に十六萬本以上の記念樹が

══京城府內に生長══

しつゝある事に成るが年を逐うて京城附近の山野は鬱蒼となり市街の風致を添へるは云ふまでもない事である而して今年度京城府の記念植樹は龍山彌生遊廓下手に於て御大典記念林敷地に行ふ筈であるが猶此の外に記念植樹ではないが市街に植栽せられて居る

══京城の街路樹は══

明治四十二年から植付を始めて今では總數三千七百餘に達して居るが京城の街路樹は他の都市の街路樹に比して概して發育が良好でない最も甚敷石の爲めに根元に日光が直射せぬと云ふ關係もあるが概して底冷えのする濕潤地なるを以て多く

══樹木の成長を妨══

げ殊に昌德宮前通りの如きはアカシヤもポプラも生著せざる爲め遂に斷然〓を補えて漸く生著を見るに至つた位であるが猶年々植付の繼續し居るを以て幾數年を出でずして街路には鬱蒼たる並木を見るに至るであらう

●政治問題には無頓著

呑氣な京城在留の支那人

帝政取消―南北妥協など、支那問題も大分日鼻が明いて來た今日此頃京城在留の支那人はどんな意向を持つてゐるかと思つて明治町の支那領事館を訪ねて見る、館員の一人は語つて曰く御承知の通り京城の領事館は政治に關する事務よりも主に

實業方面の保護機關になつてゐるので政府からは何の通知もありませぬ、在留民もいろ〳〵領事館に聞き合はして來ますけれども本國政府からは此種の問題に就いては全く何等の通知もないものですから一々其旨を答へてゐるのです、支那の新聞も大分來ますけれども何れも當推量の事ばかり書いてゐて一つとして正鵠を得た記事がないので信用が出來ず、皆々始め在留民一同は

▲御國の新聞に賴つて居る樣なわけですが今度の問題も漸く片がつきさうになつたせいか此の兩三日聞きに來ませぬ、京城に居る者の中文字を解する者は漸く十人に一人位より無いものですから共和政治だらうが帝政だらうがさういふ事に頓着する者は極く少數です、尤も前年民國元年共和政治が布かれた時には

▲大に喜んだ事もありましたから今回も一般に帝政の取消を喜んでゐる者が有識者の中にはないとも言へませぬ、何しろ京城在留民の多くは上海山東省方面の者が多いので今が恰度仕入時期で一番忙がしい時です、そんなわけで新聞も碌々讀まず政治問題などに頭を使ふ者はないのです

●鑛山荒しの賊

其筋の手に取押へらる

全北全州郡亂田面獨排里母岳金山の火藥貯藏所は屢々火藥を竊取さるゝより其筋に於て其犯人を嚴重に捜査中の處同金山の鑛夫趙判同(三二)と云ふが右の犯人を知悉し居ることを探知し早速同人を召喚の上取り訊したるに去る二十日午後十一時頃同里に於て全州郡伊西面伊城里一統六戸居住鑛夫梁昌燮(二〓)なる者火藥箱を背負ひ通行するを見受けたりとの事に直ちに伊城里に出張し梁昌燮並に同共犯者たる梁の實父梁文敬(〓)の兩名を逮捕し目下嚴重取調中なれば其用途も判明せざるが多分何かの鑛山に持ち行きて賣り渡さん積りにて隱匿し居るものなるべしと

●李一族の敗訴

墓地紛騷事件

黃海道海州郡、信川郡、瓮津郡、長淵郡、松禾郡、德川郡の諸面に散在し居る李一族にして海州郡代東面萬見里李敬求外同姓二百四十三名は京畿道坡州郡東〓面加佐里昌陵院洞崇京畿道漣川郡を內面古文里の李範喜が京畿道坡州郡東〓面に於ける李一族の墳墓を占有せるの件に就き大正四年六月大久保金一郎辯護士を代理人として訴訟を京城地方法院に提起し爾來審理中の處此程原告の訴訟は一部敗訴となりたるより原告側にては更に京城覆審法院に控訴を申立てたり

●鮮人七名溺死

全南珍島郡里新面金光里にて一兩日前渡船一隻顚覆し乘客船夫七名は海中に陷りたる儘行衛不明となりしが中一名の死體を發見したる旨附近部落民より屆出あり詳細は不明なるも木浦警察署は取敢ず掛船扇海丸を派遣したり（木浦）

●是から種子を蒔く草花

□樂しい家庭の園藝□

春から秋にかけて咲く草花の種子は三月の彼岸が蒔き時でありますが、まだ〳〵朝鮮は四月に入つてもなか〳〵寒いので決して遲れとはなりません

□播種の季節

家庭の觀樂用として蒔き付ける草花の種類は澤山ありますが、其中で手輕なものはフロックス、ペチユニヤ、春射菊、蝦夷菊、鳳仙花、孔雀草、飛燕草、貝細工、石竹、百日草、金魚草、バーピナ（和名美人草）及び金蓮花、花菱草などで、金蓮花には種々な種類があつて、近來流行して居る金蓮花は矮性にして三色菫のものです、右の中花菱草は

□移植するこ

惡いので、始めから移植しない樣に鉢に蒔付ねばなりません、又球根類のダリヤ、モントブリツシヤー（和名姫唐菖蒲）グラジオラス（和名唐菖蒲）などは、朝鮮では五月に入つてから植付けるもので今は少し早い最もダリヤの球根を買入れる時は新芽の五、六分出て居るのに限ります、若し芽の出て居ないのには往々發芽しないのが多い樣に思ひます

□草花の種子

を蒔く時に、よく素人は細末にした油糟を下敷にして其上に蒔く人がありますが、之れこそ種子を害するもので、其下に入れた油糟が醱酵する爲に、種子が死んで仕舞ふから、此の方法は全く不可で、肥料は後で施した方が失敗がないのです、又肥料としては園藝用のものも多く出來て居る樣ですが其れよりは油糟一升に水四、五升を混和して瓶か又壺に入れ、日當りよい所に置き

□二三週を經

ると腐敗しますから之に水を三倍位調合して施すのがよいのです、濃厚な肥料よりも薄き肥料を度々施した方が利きます灌水の加減も亦必要で、猥りに水をかけずに置き若し一週間も降雨を見ない場合は小量の水を切藁の上から如露で灑ぎかけて置けば上等です、播種してから約一週か二週間を經過すると發芽します。其時は早く上に被ぶせてある切藁を取り除かないと

□草花の萠が

出來ますから注意して取り去らねばなりません、すると厚い所もあれば薄い所もあるから厚い方は二葉の間に取り除いて薄くするが必要です、其場合は双方の根が密接して居る爲めに、引き拔くと一所に拔けて後に殘す有望の苗を害するから、拔かないで摘み切る方が適當です數日を經ると

□二葉の中央

から本葉が出ますが、三四枚も本葉を出した時が初めて移植する時期です、鉢に移植するのも此時です、又花壇に移植するとしたらば深さ三寸に掘つて植えるが適當です然る後前に述べた油糟の水と調合したのを施すのです斯くて丹精の效が愈々顯はれて立派な花を見ることが出來るのであります

●僞名せる曲者

岡山縣赤磐郡山形村生れ當時住所不定中原正治(二六)は三月六日山下正治と詐稱し京城水標町豆腐屋友田栗方に雇人として住み込み同月十六日豆腐及び器具合計代價四圓五十錢を横領して逃走し其の序に長谷川町下宿屋備前屋の店頭にありたる植木鉢一個(五十錢)をも掠つ逃げて逃走しゐたるが南署の手に取押へられたり

忠孝

卒業生かゝみ

日の出小學校卒業生 河合傳一君

[illegible]

●緊留船を襲ふ

住所不定の韓千龍(三十)は三月十五日夜高陽郡纛島なる漢江岸に碇泊中の運送船に忍び込み牛皮六枚絹布六匹合計價九十圓を竊取し絹布は隱匿し牛皮を携へて京城に向ふ途中高陽署の手に取押へられ檢事局へ

●困つた鮮婦人

二十八日釜山行急行列車が西井里驛に入らんとする際一人の鮮婦人が局員の制止するを聞かず列車より飛び降り左右の足部を挫傷したるより鐵道局にては平澤にて應急手當を加へたり

●女房を蹴殺す

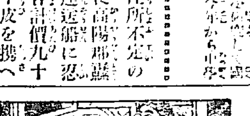
慶南居昌郡熊陽面長旨里裴致龍(〓〓)は妻の〓〓(〓〓)と折合ひ惡しく三月九日妻を實家に連れ歸す途中居昌里の路上にて同女を蹴殺し知らぬ風を装ひ居たるも同女の屍體を解剖の結果肝臟破裂と判明し裴致龍は直に逮捕されたり

●カメラ倶樂部例會

[illegible] 四月廿〓日 [illegible]

一人前になるまで

—(二)—



□判任官

文官としての一人前は先づ判任官になつた時であらう、無論理想を言へば高等官になる事だけれども普通判[illegible]

こいふのもあつてこれは鮮語、朝鮮法規、數學等の試驗課目を受けねばならぬ、併し高等文官試驗に及第した人ならば總督府試補として一箇年或は二箇年ばかりの經驗を得た上で高等官になれる

任官の五六級と云へば官吏としては立派な人になつたといへる、朝鮮に於ける

◈官吏の資格を

得る學校としては內地人側に朝鮮總督府中學校と同附屬教員養成所とがあり鮮人側には高等普通學校と專修學校の二つがあるが此の中卒業後高等官になれる資格のあるものは獨り專修學校のみである、此の學校は高等普通學校三箇年の課程を了へて猶三箇年間の修業を要するので卒業生は普通[illegible]に能きる、但し內地側中學校卒業生は毎年春の四月と秋の十月の兩回に行はれる判任官見習試驗といふのに及第して然る後晃當の判任官となれるので金筋の附いた制服を著けるのもあだおろそかな事でない、兹に

◈朝鮮で特別な

規則があるといふのは日本內地に於て判任官の資格を行つた人でも朝鮮に來てはそのまゝ赴任する譯には行かない、朝鮮では先づ前に云つた中學卒業生など共に鮮語、作文、法學通論、行政法の見習試驗を受けて然る後始めて朝鮮總督府の判任官となれる譯である

◈又技師や技手

の如きは特別任用として此の範圍外であるけれども要するに判任官を四等から一等まで漕ぎつけ再び高等官の八等から一等まで上るには却々男子一生の事業としても容易な仕事ではないらしい、國民の公僕としてまた師表として立つ官吏の生活

その官吏に就き任事に上る
下僚と官の差別はあ

りやうそもないが先朝鮮で云ふ謂ゆる二本筋さんとなれば文官として立派な事であらう、更にまた高等官一二等の勅任官となれば一層男子の本懷であらうが僞廢ことの面倒な人は政治家となつて一足飛びに國務大臣の親任官を志すがよからう（我輩生）

●總監部諸規則發布

總監部令にて發布の筈なる宿屋營業取締規則、料理屋飲食店營業取締規則、藝妓、酌婦、藝妓置屋營業取締規則、貸座敷、娼妓營業取締規則の四規則は愈々審査決議濟みとなりたるを以て一兩日中に發布さるべく實施期は多分五月一日よりならんと

果樹 山林用 優良 種子 **苗木** 種類確實大安價

苹果 一年生 百本一圓二十錢 二年生 同 貳圓
梨 一年生 同 二圓五十錢
桃、柿、葡萄、桑、根、アカシヤ、松苗
仁川仲町 万苗園出張所

學校用品荷捌 京城本町 シオサキ文具店

貸席開店御披露

京城に始ての社交機關に貸席集會席は人數の多少に拘らず適當な室澤山有之候席料は安値で諸演藝さらへ講演會、講會、園碁會、茶話會、送迎會、諸宴會、婚禮其他如何なる御集會御催に必要な器具材料全部設備致居候尚御料理も專門家を特別の特約致居候是非一度御立寄願上候

京城永樂町二丁目（元寶年合跡）
貸席 赤門倶樂部
電話二八六〇番

拜啓 愈々御清榮の段奉大賀候扨て弊店製品（春田墨）幸に各位の深厚なる御援助に依り益々販路擴大し日に隆盛に趣き候段深く感銘罷在候然る處御了知の通り歐洲戰亂の結果原料品并に加工費の急激暴騰を來し到底從來の代價を維持し難き場合と相成候に付不本意乍ら四月一日より左の通り値上げ實行仕候

壹挺に付
（春田墨）金一錢五厘値上げ

就ては信用本位の製品たる以上益々品質を精選し極力謹製仕り甚大なる御引立に答へ奉るべく期し居候間倍々の御同情御愛顧願上候 敬白

追伸 尚原料品は益々高騰の狀態に有之今後又々値上げ相願ふやも計り難く候に付豫め御了知置被下度候

大正五年三月
大阪市東區本町通信濃橋東詰東
春田梅魁堂
電話本局二六四一番 振替大阪二四四一四番

有權商標
大阪南堀江貳丁目
春田商店
株式 春田堂

日韓書房 新版報告

井上圓了著 迷信と宗教 定價一圓三十錢 送料八錢
瀧川玄耳著 故鄉と他鄉 定價一圓三十錢 送料八錢
伊藤豊十著 幾何學學習の仕方と問題の解き方 定價五十五錢 送料六錢
大町桂月著 新案日用辭典 定價八十錢 送料六錢
中等教科研究會編 音引畫引 漢和新辭典 定價一圓九十錢 送料十四錢

京城本町二丁目
電話一四五・二二七番 朝鮮振替口座一一二五番

內科 小兒科 皮膚病 花柳病 入院隨意
京城日出小學校前 **多々見醫院**
院主 醫學得業士 多々見五郎
電話九四〇番

千生瓢 (160)

須藤南翠作 筒井年峰畫

調略(一)

信雄卿の三人衆を誅せられたるよし、池田信輝入道勝入齋の、美濃大垣の城に聞えたのは、三月六日の事であつたが、尚其眞偽を知り難ねて心惑ひのせらるゝ折、尾藤甚左衛門尉が密かに入道殿に御意得申したく、大阪表より來著致したと申し込んだのであつた。

何事の所用とは知らねども、勝入齋は心利たる郎黨を選んで、之に接待役を申し付け、一先ず城下の旅館に請じて、長途の勞れを休ませ置き早速岐阜城に在る當主紀伊守之助を招き寄せ、親子列座の上で、甚左衛門尉を城中に案内し、之に對面する事とした。

甚左衛門尉は父子の面を見るや、如何にも舊情に堪へられぬといふ體で、古物語りに無二の懇情を、二人の心に結び著けようと努めた。

『池田殿は織田家嫡々の御老職、殊に北畠殿とは御隣國の事、定めて彼方樣より御使者を受けられ、必定御加勢と存じ申すが、如何おざりませうな』

甚左衛門尉は打付けに探りを入れて、密かに父子の顏色を伺つてゐた。事に馴れたる古武士ながら、唐突の質問を受けて、流石の勝入齋も度を失ふばかりであつたが、さあらぬ體に取り繕つて

『異な事を承はる。如何にも筑前殿、春にもならば、尾張を攻めらるゝなど、世上の風説を耳に致さぬでもおざらぬが、矛盾の沙汰も承知せぬに、左樣の事のあらうとも存じ申さぬ。甚左殿は何故左樣に申さるゝぞ』

『はゝ、はゝ。老功と申さうか、狡猾と申さうか、謹しやかに逃げらるゝよ。勿論織田家御公達の一人、之に御味方せらるゝは、故殿の恩に酬ゆる途と、思ひ存しての上と存ずれば、一應は御尤おざる。併し北畠殿は北畠殿、織田殿は織田殿、正しき嫡庶の別あることを、御辨へなき入道殿とも覺え申さぬ、御味方とあらばそれまでの事、御實心の處を確と仰せ聞けられたい』

屹となつて詰寄する甚左衛門尉の意氣組に、紀伊守之助憤然として膝を突き付け

『やあ、推參おざる尾藤殿、實心の處心のと、我等父子何人にも頼まれ申さぬ。仔細も告げずに心腹を疑ふは、正しき武士の作法おざるか。何とておざる。返答さつしやれ』と聲懐はして詰り問ふ。

甚左衛門尉莞爾と笑つて

『さて〳〵美濃一國は日本國から懸け離れたと相見えて、斯ほどの變事が聞え申さぬかの、流石は池田殿御政道の行き屆いて、御領國は靜謐、民百姓は安穩、弓矢の沙汰は夢にも見させられぬげなや。但し御足許に戰ひの起らば、知らす顏には過されますまい。去就進退の御覺悟、それ甚左承はり申さう爲め、罷り向つた儀におざるわや』

『さらば、世上に沙汰する如く、北畠殿愈々三人衆を誅して、羽柴殿に…たるゝとか』

之助が透さず突き込むと、甚左衛門は莞尓に答へんともせず

『紀伊殿、北畠殿の御勢を以て、羽柴殿と雌雄を爭はんことは、思ひも寄らぬ事おざる。彼殿かゝる事を思召し立たるゝには、丹羽殿なり、池田殿なり御加勢なくば、とは何人も推量致す處でおざる。然るに丹羽殿は先達て大阪に出向はれ、筑前殿と親しく和を交されておざれば、池田殿御父子の御後詰と存ずる者、斯く申す甚左一人ではおざるまい。我等も織田殿恩顧の侍士、大義さへ立つたらば、御父子と共に與力すまいともいうてもおざらぬ。なやに依つて何事も御腹藏なく、この甚左に御仰せ聞けられたい』とか問うた。

甚左衛門が詞の端々、其に聽き取つた勝入齋、莞爾として目を開いた

『北畠殿羽柴殿矛盾の事、補以て存じ申さぬ。又北畠殿より催促の事、是以て未だ承はり申さぬ。足下筑前守に頼まれて、我等を試さうとな。さて〳〵遠路大儀おざるわ。今宵は寺院ながら旅舘に還られ、緩々と休ませられい。明日重ねて御意得申さう』と式代して座を立つた。

□オンドル會詠草

短日

虫弱う短日に空ミとりして　徳谷渕
理髮鋏の背高き日短かの町　文而王
蒲團干すに日の短さ鳴る海　逸鹿
看護俤さ眠る縫ふ障子日短さ　同

笹鳴

今年就學の見え稚く待笹鳴よ　文而王
樹立淺う笹鳴る遠ちの斧研　同
肥料過ぎ芽麥の艶を笹鳴る　同
室掃けば旭に澄む挨り笹鳴けり　同
汽車過ぎし驛の的場に笹鳴ける　同
鍛冶き〳〵住む根當さ笹鳴ける　同

葱

馬末畑の葱風すみ夕日鷄鳴いて　徳谷渕
葱の赤葉散る畑に鷄吹かれ居り　同
葱與ふ異甍を明太の干竟ふか　逸鹿
葱の枯ゆく畑に鷄の鬩合居て　文而王

○蘆風吟社詠草　湖南線松汀里

春風解氷

春風に諏訪の湖さけ初めて氷の路は人かけもなし　松田李玄
ありなれの河瀬の音は截きぬ吹く春風に氷流れて　林正辰
錦え立つ氷の山も春風にとけにけらしな北の海原　秀島篠雄
いさら川氷もさけて水車ふく春風に音の聞ゆる　大和呂光
にはたつみ流の音も聞れるを吹く春風のときて聞ける　植野治尚
春風の吹けば山家の筧なる氷もさけて落つる水音　長坂重太郎
山蔭の池の氷も春風に浪のまに〳〵流れゆくなり　中関春野
春風の今日吹きくれるは湖水いつしか解て流れける哉　高等一年生 大塚すみ
結びたる池の氷も春風は柳の糸のもつれをもとく　秀島ふく
春風の吹きとく頃になりぬなり厚く結びし谷の氷も　木浦 伊藤てる

春くれば池の氷もかつ消えてかつく鳴鳥見え初めにけり　士居 松枝
春風の吹きにし日より我庭の池の氷もとけそめにけり　木浦 直井成章
諏訪の湖氷も今はとけ初めぬ春風吹けば人な渡りそ　宮崎 茂光

新刊紹介

▲進化原論 …

▲榮西禪師 …

▲アラビヤンナイト(下卷) …

▲新家庭(一ノ二) …

▲黒生 …

讀者の領分

▲檻に猟犬を飼ひたり、京城府三一七六號？三一六七號？の鑑札を付けたる白に黒色の斑點在犬御見失の御方は三坂通り某好猟家へ御問合せ然るべし(義見生)▲貴紙は今般京城版を新設して智識階級に向つて權威を發揮せらるゝとは吾讀者の双手を擧げて歡迎措かざる處なり(名論卓說家)▲貴社拾周年記念の爲め釜山に於て全鮮の水泳會を今夏催されては如何仁川、木浦、群山方面よりも參加せんとする勇士腕を撫して待ち居り候亦た當年の暢眠を醒すに最大効能を有するものと存じられ候(愛讀者の一航海者)▲古今恐らく魏の時代を云ひたるものならむ然れ共太平なる年號は梁の敬帝の時(朝鮮の新羅眞興王時代)宋の太宗の時(朝鮮新羅眞聖王時代)にも太平興國なる年號あり彼此綜合するに貴下の云ふ大魏眞君太平四年とは此の支那敬帝時代の年號を用ゐ朝鮮新羅の事を指したるものならむ蓋し當時新羅は麗濟二國の侵略に遇ひ甚だ苦しき立場に在り援を支那に求めつゝありし時代なれば政略上大國の年號を用ゐつゝありしものと見ゆ果して然らば今を距る千三百六十七年前也(平壤エムオー生)

▲無事納會乎　前項の如き成行にて一向變動なく…

▲誤電の眞相　本月二十四日午後仁川米豆取引所の…

女のクスリ 無代で送呈

つらい悲しい女の病ある人は見逃しならぬ大仕合せ事です

女も男も見逃したら一生の損

婦人藥界の、レコード破り!!

一口に婦人病と云ふ中に子宮の病氣は…

身にとつて何よりもつらい悲しい事で、此の病あるばかりに圓満な家庭が作れず、一日とて樂しき日はなく、泣いて暮らして居らるゝ不幸な御婦人は世間には隨分と澤山居らるゝであらう、實に婦人病は子供の出來ぬ原因となつて、一家子孫の繁榮を妨げる計りでなく、女としてあらゆる一切の幸福を奪ひ去つて了ふと云ふ女にとつては誠に恐ろしき病氣である事今更云ふまでもありませぬ左れば私は之を「女の不幸」と申したいのでございます、扨私は此女の不幸たる婦人病子宮の病に就ては隨分と苦勞した事もありましてドウかして、此病に効めの著しい藥を製したいものと種々と研究致しました結果、之れならばキット効めは確である、キット世間の御婦人病者がお喜びになるであらうと確信し得らるゝ藥劑が漸く出來上がりましたので、之をピボーと名付けて廣く世の中へ發表しましたら、效めが著しい所から大評判を受けまして、御婦人病者は大喜びでピボーを、召上る方は一日増しに殖えるばかりです、然し婦人病の藥と申せばヤレ振り出し藥だ煎じ藥だと昔から隨分と澤山ありまして、御婦人病者はドレが一番効めがあるかとお迷ひになるでせうから私は此ピボーを二日分だけドナタにでも無代で差上げ實際の効めを試して戴きたいと存じます、左れば此の病氣の爲め悲しい月日を送り給ふ方は申すまでもなく

●いつも月經が早くなつたり後れたり　●平素ねばりあるこしけが下り　●月經時に下腹痛　●下腹筋張り

…の藥を服むだが一向効かぬのだから此のピボーも駄目であらうと思召す方がないとも限りませぬが、其の樣に自分の病氣を重いものと定めて了つては治らるのは、…例へ一日分にせよ無代で差上るのは、婦人病には確によく効くと云ふ私に堅き信念があるから出來ることで、斯う云ふ事は婦人病藥として今までに無い事ですから兎や角思案して居らず早いが御身の爲め、一刻も早く御申込になり一日も早く樂しく幸福な御身の上となられませ。

病氣はモーこれまで種々…

東京九段方九十三(電話番町二八八二)電車停留場前

橋本健藏

公告

…朝鮮總督府…京城府…大正五年三月三十一日 金谷充

製材機械原動機　其他一切付丸鋸共　賃貸に割安賣却　鑛山機械專門製作　南大門通五丁目(電話一〇四番) 中根商會

白毛赤毛染 君が代

松材販賣廣告　一李王職花山森林 拂下松材 土工橋梁建築用丸太及挽材各種

特約販賣店　京城…松井吉太郎　三幸洋行出張所
特約販賣店⑥那須材木店
餅店驛前　松井吉太郎

新刊書御案内
⑥カイゼルの裏面　九〇
⑥女探訪　七〇
⑥和歌の作りやう　六〇
⑥薔薇家の妻　六〇
⑥百東園の粉粹　三五
⑥金與のうろこ　三五
⑥安易生活と食物の活用　六五
⑥女學校出の花嫁さん　四〇
⑥女は魔性である　八五
⑥伊太利から英國へ　一、三〇
⑥珠玉鈔　九五
⑥勞働運動の哲學　三五
⑥哲學と文藝　一、二〇
⑥農村生活三十年　四五
⑥李少南書帖　二、〇〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六 振替京城二五七三番

營業案內　京城水標橋 春川間乘合自働車　京春自働車商會

ブラシ 内外各種ブラシ製造 原毛販賣

石灰 覇王

安くて、うまい ハイカラ どんぶり カフェタイガー!!

新春向半襟 造花材料 品揃　京城本町二丁目 松菊屋小間物店

足袋は大正足袋に限る

大阪商船出帆

朝鮮郵船

尼崎汽船出帆

汽船釜山出帆廣告

共同汽船出帆